



®環境省

エコアクション21

# エコアクション21で 「わ<sup>※</sup>」を創ろう

企業価値向上ツール「エコアクション21」のすすめ Vol.2

～バリューチェーンの価値向上に取り組む、大手・中小事業者の実践例～

※エコアクション21で人と人が「輪」になり、事業者と社会が「環」になって、  
みんなで地球や将来世代に「和」を残そうという想い



環境省

# ようこそ、エコアクション21へ

環境省総合環境政策局環境経済課

世界経済フォーラムが毎年発表する「世界のリスク」では、気候変動リスク等の環境問題が経済に与える影響は極めて深刻であると指摘しています。そしてCOP21のパリ協定に象徴されますが、世界は連携して持続可能な社会経済へシフトする道を選択し、模索しつつも着実に対策を進めています。

こうした状況のなか、事業者の環境取組の意義は大きく変化しています。紙・ゴミ・電気といった古典的な環境取組の枠を越え、本業を通じて事業者・ステークホルダー及び社会の持続可能な成長にどう貢献しているのかという「内容の軸」、中長期の事業戦略とどう紐付いているのかという「時間の軸」から、環境取組の意義は語られつつあります。

こうした2軸に対し、エコアクション21は基礎的でありながら効果的な解を提供できるマネジメント・ツールです。重要な経営資源である人・物・金の「人」に着目し、効率的で効果的な環境と経営の統合的な戦略立案から組織体制の構築まで、事業者のガバナンス面から支援します。とりわけ、中堅・中小事業者にも着手し易いよう、「形式より実質」を重視して設計されています。

エコアクション21のメリットは、皆さんの創意工夫で無限の可能性を秘めています。今回登場する、9の実践例はその一つにすぎません。しかし、人が、組織が、企業がエコアクション21でつながることで、そのメリットが一層大きくなることを理解できると思います。

エコアクション21で人と人が「輪」になり、事業者と社会が「環」になって、みんなで地球や将来世代に「和」を残せるよう、私たちと共にエコアクション21で歩むことを心から期待し、歓迎します。

ようこそ、エコアクション21へ。

## TOPICS!

### エコアクション21のロゴが変わりました!

エコアクション21に取り組むことをより対外的にPRできるようになりました。  
詳しくは持続性推進機構ホームページ <http://www.ea21.jp/register/logo.html>

### エコアクション21ガイドラインが変わります!

より有効性を高め多くの事業者に使いやすいものへと変わります。  
詳しくは環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/ea21/com3.html>

# エコアクション21を活用したバリューチェーン管理のすすめ

地球環境問題がより深刻化する中で、2015年12月に調印されたCOP21のパリ協定では、すべての国が参加して2100年までに「温室効果ガス排出の実質ゼロ」を目指すこととなりました。またISO14001規格の改訂、SDGs、ESG投資\*等、大手企業は、経営面での環境関連のリスクや機会（チャンス）を考慮し、環境への取り組みを進めて事業活動の中に環境活動を組み込んでいくこと、さらには、バリューチェーン全体、サプライチェーン全体でこのような取り組みを行っていくことが求められています。

そのためには、大手企業では、取引先、原材料・部品等の調達先、子会社・グループ会社、製品・サービスの販売店・代理店等に対して、

- ・環境への取り組みや環境マネジメントシステム構築を支援する
- ・二酸化炭素等の排出量を把握、管理し、CO<sub>2</sub>ゼロにしていく
- ・環境法令順守等のコンプライアンス管理の徹底を図る

など、バリューチェーン全体の管理、さらには価値向上に取り組んでいくことが必要です。

※SDGs：持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）、経済、環境、社会の3つの側面に関する2012年6月の国連持続可能な開発会議（リオ+20）で策定が合意された国際目標。

ESG投資：環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）に配慮している企業を重視・選別して行う投資。

## バリューチェーンの中核企業、地域の企業団体・業界団体等でエコアクション21を活用するための「関係企業グリーン化プログラム（GP）」

関係企業グリーン化プログラムは、エコアクション21を活用して、バリューチェーンでの環境取り組みを推進したい大手企業、会員・組合員企業の環境対応力強化を図りたい企業団体が実施するプログラムです。

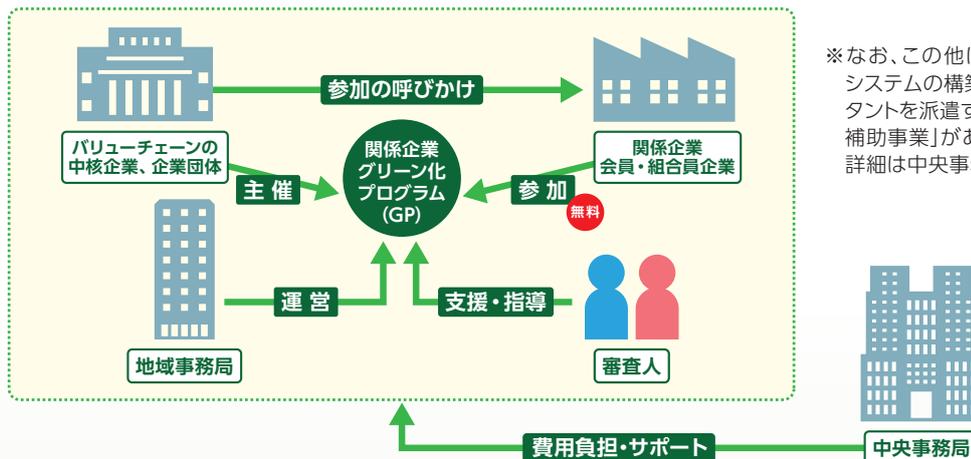
プログラムは、中核となる企業・団体の呼びかけにより、関係する事業者に対して、エコアクション21の認証・登録を目指す事業者を募り、エコアクション21地域事務局と審査人の支援のもと、より多くの事業者が短期間で効率よくエコアクション21を取得することを目的としたプログラムです。

### プログラムの概要

- ①中核となる企業、団体は、関係企業、会員・組合員企業を対象とした、エコアクション21に取り組むための勉強会（4～5回程度）を主催し、参加事業者を募集
- ②勉強会は、エコアクション21の中央事務局・地域事務局・審査人が、協働で運営、実施
- ③勉強会において、エコアクション21の構築、運用方法を一から丁寧に指導し、認証取得まで支援

**これならできる！**

講師費用、資料代等の**必要経費は中央事務局が負担**  
勉強会参加企業の**参加費は無料**



※なお、この他に環境省事業として、環境経営システムの構築に取り組む事業者には、コンサルタントを派遣する「Eco-CRIP（エコ・クリップ）補助事業」があります。詳細は中央事務局にお問い合わせください。

### 関係企業グリーン化プログラムを実施することのメリット

- ・関係企業や会員・組合員企業が、まとまってエコアクション21に取り組むことから、グループ企業や会員企業の一体感が高まります。
- ・勉強会を主催する企業、団体は、環境省が商標権を保有するエコアクション21ロゴマークを使用することができ、ホームページ等で「エコアクション21推進企業（仮称）」として、その取り組みをアピールすることができます。
- ・参加事業者の取り組みによるCO<sub>2</sub>排出の削減量について、毎年度、中央事務局が集計し、報告します（2017年度実績から）。
- ・参加事業者のエコアクション21の取り組み、環境への取り組みについて、一定の指導ができ、グループや団体が統一的な取り組みを行うことができます。

【対談】エコアクション21が創る環境経営のいしずえ

# 環境経営で大転換時代を勝ち抜く

～これからの環境対策と企業経営のあり方～



一般財団法人 持続性推進機構  
理事長  
安井 至

富士重工業株式会社  
代表取締役社長  
吉永 泰之

環境省  
地球環境審議官  
小林 正明

公害防止や省資源、省エネルギーが重要課題であった時代から半世紀の時が経とうとしている今、人類社会は大きな転換点に立っています。COP21・パリ協定が象徴するように、環境問題はもはや持続可能な経済社会の脅威となり、その解決のために全世界が連携して、既存の枠を越えた取り組みを行おうとしています。企業の環境活動も、形だけ・イメージだけの時代は終わり、実効性のある活動が評価され、企業や製品を選ぶ「ひとつの要素」から「重要な要素」になりつつあります。

そうしたなか、環境への取り組みを中期経営ビジョンの要素として位置付けた富士重工業（株）は、自社の国内販売ネットワークのすべてにおいてエコアクション21の認証を取得し、環境企業としてのブランドを際立たせています。この国内初、唯一の事例をもつ富士重工業（株）と（一財）持続性推進機構、環境省が一堂に会し、これからの環境対策と企業経営について対話を行いました。

**小林:** 今や、地球温暖化問題は、市民が肌でその脅威を感じる時代になってきたと思っています。そして、COP21が開催され、これまでは先進国と途上国で二分されていた課題解決への方策も、みんなでひとつになって取り組む時代となりました。世界各国が一つに力を合わせようとしている今、日本の全国民、すべての企業が一つにまとまり、主体的に環境問題を解決していくための枠組みを議論し、みんなで取り組んでいく、それが私ども環境省の責務と考えています。

**安井:** COP21・パリ協定は、歴史的かつ画期的なものとなりました。今世紀後半、つまり2100年までに「すべての国」が「温室効果ガス排出の実質ゼロ」を目指すというのは、その象徴と言えます。人類は今、産業革命以降の「化石燃料を使って発展する文明」から、「化石燃料を使わないで発展する時代」への大転換点に立っています。そして特筆すべきことは、そうしたゴールを全世界で合意し、発信できたことです。世界中の人々が、そちらに向かう、進む努力を

していく——短期的な必達の目標ではない、最良の道を歩んでいくための「ゴール：CO<sub>2</sub>ゼロ」という方向性を共通の認識にできたことは極めて大きな成果であると思います。

**吉永:** 企業活動のあらゆる領域で環境に対応していくことが「MUST=必須」である、という時代だと認識しています。環境に配慮した企業でなければ、企業活動が許されない時代を迎えたと思います。一般的に、これまで質の高い企業という

と、質の高いプロダクツ（製品）を世に送り出す企業でした。しかし、今は違います。その製品が環境に配慮された質の高いプロセス（工程）で作られていることが重要になってきました。環境に配慮しない企業の製品は選んでいただけない、そういう明確な意識を持たれるお客様が、急速に増えていると実感しています。

当社の中期経営ビジョン「際立とう2020\*1」で掲げている——スバルブランドを磨く——では、製品のみならずスバルのすべての諸活動を対象にしています。スバル車だけでなく、スバル車を販売する販売店の活動も当然含まれています。スバルグループ全体で、質の高い環境への取り組みを実践することが、スバルブランドを際立たせると考えています。

ですから「スバルの販売店は全44社、700店舗のすべてが、エコアクション21の認証を取得しています」。それは「いくつかの販売店が取得している」だけでは個別の取り組みに過ぎないからダメで全44社、700店舗のすべてが取得して初めて、スバルグループ全体で環境に取り組んでいる姿勢をお客様に強く訴求することができ、スバルブランドを際立たせることができると考えています。すべての販売店が一つになってエコアクション21の看板を掲げよう——その思いで、みんなが一つになりエコアクション21の取得を推進しました。

**安井:** 例えば「70店舗、全体の1/10が取得しています」では、実はエコアクション21のメリットの1%も活かされないと感じています。そういう意味で、吉永社長は「100%、販売店全体でなければ意味がない」と認識し、経営



者として思い切った行動をされていることに、大いに共感を抱くと共に、高い敬意を表したいと思います。

もう一つ、吉永社長が思いや理念を示しつつも、販売店自らがエコアクション21を全店で取得すると決め、積極的に取り組んでいることも素晴らしいことです。それが現場にイノベーションと躍動感を産み、エコアクション21導入後も持続的発展につながっていると思えました。

**小林**：販売店すべてにおいて、そしてその従業員ひとり一人において、みんな同じ方向を見据えて環境活動を推進できるのは、企業体の強みと言えるかもしれない。なぜなら、企業で働かれている方も家に帰れば家族の一人、市民です。企業の規模が大きければ大きいほど、グループ・関係会社の裾野が広がれば広いほど、企業での取り組みが津々浦々に伝搬していくという、そのシナジー効果はとてつもないからです。

むしろその影響力に着目し、企業から家庭への環境活動の持ち帰り、発展、そうした一人の人間の中での一体化も期待したいところです。

そうしたなか、企業としての中期経営ビジョン「際立とう2020」には、環境への取り組みが重要な要素として位置付けられています。全販売店でのエコアクション21導入・継続も、その一つと伺いました。

**吉永**：エコアクション21導入は、すべての販売店が参加する会議での決議から始まりました。1つひとつの販売店だけでは出来ないことが、エコアクション21でみんなが繋がり、当社も加わって、データ管理システムを運用することにより、いつかの経営判断の材料が見えてくるようになりました。そしてエコアクション21をツールとして利用することで生まれたのが「スバル・ゼロエミッションスキーム<sup>※2</sup>」という販売店の資源循環システムです。これにより環境対応だけでなく経済合理による経費削減ができました。

このスバルのゼロエミッションスキームは、みんなで地球環境を良くしていきたいという考えから、他メーカー様にも活用していただいています。このように結果として業界横断的に活用できるのも、エコアクション21の仕組みがあればこそだと思っています。

**小林**：私たちはエコアクション21を経営ツールの一つと位置付け、形式でなく実質本位で、様々な活動に実装していただきたいと願っています。そういう意味で、スバルはエコアクション21の特徴を非常によくご理解され、上手に経営に統合されていると感じました。大手企業でも適材適所にエコアクション21が活用できることは、他の大手・中堅企業に大きな気づきを与えるのではないのでしょうか。

また、「スバル・ゼロエミッションスキーム」が同業他社に波及していることは驚きました。同スキームの骨格をなすエコアクション21が、業界のグリーン化の橋渡しにお役にただけていることを大変うれしく感じています。

**安井**：エコアクション21に取り組むことによる8つの御利益ということについて、よく話をさせてもらっていますが、「トップが自慢できる社員とそのチームワーク」が生まれ、「環境経営」を楽しめるようになり、社員が「自分の仕事と会社」を自慢できるようになる。それがエコアクション21の目指すべき効果であり、スバルはそうした域に達しておられるようです。

**吉永**：たしかに社員の顔は生き生きと輝いていると思います。環境経営で、地球環境もスバルグループの業績も上向きになっていけるように頑張っていきたいですね。環境対応は自動車メーカーとしてますます厳しいものになっていくかもしれません。しかし、地球環境をもうこれ以上悪化させることはできません。人類のあり方として、後戻りはできないし、許されないとすら思います。だから我々も環境対応の手を抜くことはありません。みんなで知恵を出し合い、持続可能な発展を皆さんと共に歩めたらと考えています。

**小林**：COP21は国家レベルでの交渉ごとでもありますが、それを現実のものとしていく課程において、産業界との連携は不可欠です。企業の将来は、日本の、そして世界の将来につながっています。そのための課題の共有や、解決方法の検討、そして取り組みの実践など、すべきことはたくさんあると思います。ただ、一つ言えることは、産官民が一体となって、高度成長期の大気汚染を

切り抜け、澄んだ青空を取り戻した経験が日本にはあるということ。我が国には、そうした力がありますので、この課題についても、その力を発揮して、みんなで知恵を出し合い、実行していくことで、地球を澄んだ青い星に戻せるのではないかと信じています。

**安井**：エコアクション21の価値として、環境負荷の低減やコスト低減だけでなく、組織の風通しがよくなったとか、経営の質が上がったとか、同業他社や地域社会とつながったとか、無形の価値にメリットを感じる声もたくさん頂いています。

私は、エコアクション21を「大転換時代を勝ち抜く企業の集い場」だと考えています。現在、エコアクション21に集う仲間が全国に約8千存在します。しかし、持続可能な社会へ移行するには、まだ仲間が少ないとも感じています。

エコアクション21には、認証・登録制度を開始して10年を超える経験と実績があります。また、現在環境省が行っている同ガイドライン改訂を見据え、運営側としても様々な事業者支援策、普及策を検討中です。皆さんが知恵を出し合える場を提供すべく、運営側としても全力で支援して参りますので、是非とも多くの事業者様にエコアクション21を活用していただきたいと思います。

**吉永**：スバルのサプライチェーンでは、エコアクション21とISO14001を上手く組み合わせ活用しています。エコアクション21の費用や負担の少なさは大きなメリットだと思いますので、今後は、販売店だけでなく様々なプロセスにも広げていけると考えています。

**小林**：本日の対話を通じ、スバルがエコアクション21を大きな輪で活用し、着実に成果を出されていることに、政策の手応えと励みをいただきました。大手企業であっても、エコアクション21が事業価値向上ツールとして機能することは、多くの企業の気づきになると思います。

環境省は持続可能な社会の実現に向け、温室効果ガスを2030年までに2013年比26%減、2050年までの目標として80%減を掲げています。これには技術革新だけでなく社会経済システムの変革も必要かもしれません。しかし重要なのは、粘り強い日々の取り組みです。エコアクション21は日々の環境取組とその向上、経営と環境の融合を可能にするツールだと思います。是非とも多くの事業者に活用していただき、大転換時代を乗り切り、発展していただきたいと思います。

本日はありがとうございました。

※1：際立とう2020

<https://www.fhi.co.jp/ir/corporate/vision.html>

※2：スバル・ゼロエミッションスキーム

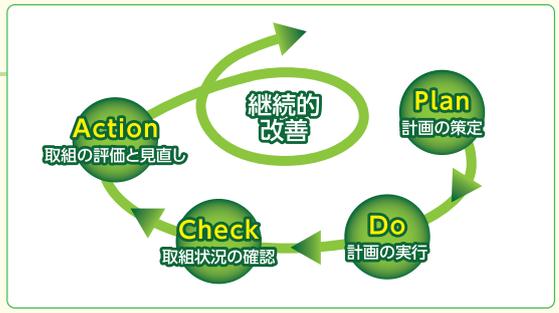
[https://www.fhi.co.jp/envi/csr/envi/sale/#h3\\_02](https://www.fhi.co.jp/envi/csr/envi/sale/#h3_02)



# エコアクション21とは？

## Q. エコアクション21は、どんなものですか？

A. エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)です。一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境への取り組みを自主的に行うための方法を定めています。エコアクション21は、あらゆる事業者が効果的、効率的、継続的に環境に取り組んでいただけるよう工夫されています。



## Q. エコアクション21にはどんな特長があるのですか？

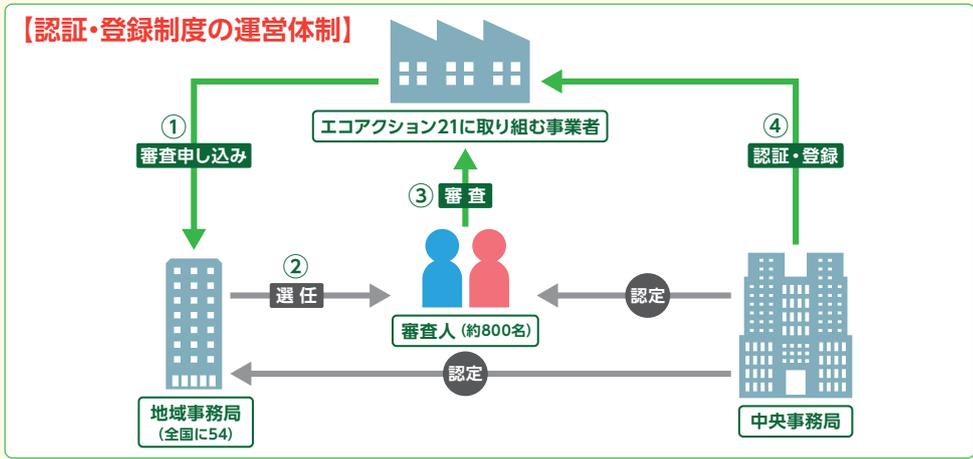
- A. エコアクション21は、
- ・中小の事業者でも容易に「環境経営」の仕組みが構築でき、運用できる
  - ・具体的に環境配慮の取り組みとして何をやるのか、どのように行うかがわかりやすい
  - ・環境負荷 (CO<sub>2</sub>排出量等) の把握集計が容易にでき、環境報告が簡単にできる

## Q. なぜ、中小の事業者でも容易に取り組めるのですか？

- A. ・「環境への負荷の自己チェックの手引き」「環境への取組の自己チェックの手引き」を用い、事業者が自らの環境負荷に関する状況と、具体的な環境への取り組みの方法を簡単に把握できるようになっています。
- ・環境マネジメントシステムについても、把握すべき環境負荷の項目や設定する環境目標の項目について、CO<sub>2</sub>や廃棄物の削減など環境経営にあたっての要件を具体的に定めていることから、初めての事業者でも、無理なくシステムを構築し、環境への取り組みを始められるようになっています。

## Q. エコアクション21の認証を取得するためには、どうしたらいいのですか？

A. 環境省が策定したガイドラインに基づきエコアクション21に取り組む事業者を、第三者機関である中央事務局が認証・登録する制度が「エコアクション21認証・登録制度」です。事業者は、エコアクション21の取り組みを行い、最寄りの地域事務局 (パンフレット巻末を参照:全国に54) に申込をします。地域事務局から審査人 (全国に約800名) が派遣され審査を行い、その結果が判定委員会で「ガイドラインに適合」していると認められると、認証を取得することができます。



## Q. 認証を取得するための費用はどのくらいですか？

A. 事業者の規模にもよりますが、従業員30人の場合、毎年の審査費用が10万円、2年間の認証・登録料が10万円となります。

## Q. 審査を毎年、受審することは大変ではありませんか？

A. エコアクション21の審査は、単にできている、できていないを確認する審査ではなく、審査人が、事業者の環境への取り組みや環境経営システムの構築・運用状況を確認し、改善のための丁寧な指導・助言を行います。事業者の抱えている課題や問題点を一緒に解決していくことができます。

## Q. エコアクション21は、我が国の政策の中でどのように位置づけられていますか？

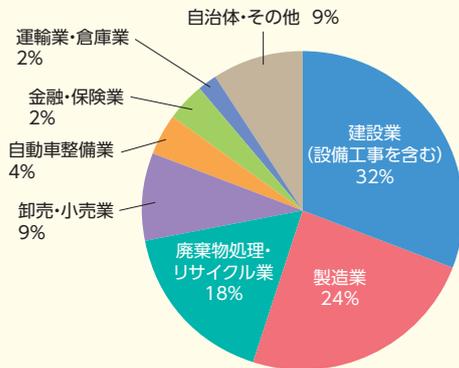
A. エコアクション21は、日本の環境政策における重要な施策のひとつとして、環境配慮促進法、第4次環境基本計画、優良産廃処理業者認定制度、環境コミュニケーション大賞等、国の法律や制度等に位置づけられています。

## Q. どんな事業者が、どのくらいエコアクション21に取り組んでいるのですか？

A. 現在、全国で約7,700事業者がエコアクション21に取り組み、認証・登録されています。製造業のほかにも、建設業、廃棄物処理業、サービス業など、様々な業種の事業者が取り組んでいます。また、全体の90%が従業員100人以下の事業者で、まさに中小事業者に適した制度です。

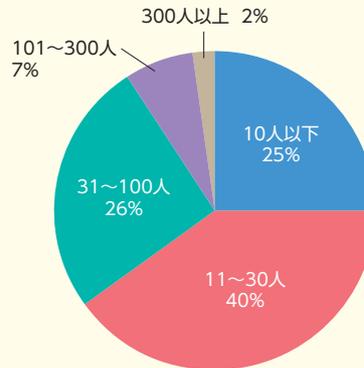
### ● 認証・登録事業者数の業種別割合

製造業だけでなく、様々な業種の事業者が取り組んでいます。



### ● 認証・登録事業者数の規模別割合

全体の90%が従業員100人以下の事業者です。



## Q. エコアクション21に取り組むことにより、どのような効果があるのですか？

A. エコアクション21に取り組むことは、以下のような効果（メリット）があります。

- ① **総合的に進められる!**：ガイドラインには『環境経営（マネジメント）システム』『環境への取り組み』『環境コミュニケーション』の三要素がひとつに統合されているため、環境への取り組みを総合的に進めることができます。
  - ② **経営面での効果が期待できる!**：環境経営システムを構築し、取り組みを継続的に改善していくことによって、経費の削減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底、社員の意識向上など、経営面での効果をあげることができます。
  - ③ **ロゴマークが使える!**：自社のパンフレット、カタログ、封筒、社員の名刺等に、エコアクション21のロゴマーク（® 環境省）を使うことができます。エコアクション21の取り組みを社内外に強くアピールできます。
- 
- ④ **取引条件に対応できる!**：多くの大手企業が、環境への取り組みや環境経営システムの構築を取引条件の一つとする傾向にあります。認証・登録することによりそれらに対応することができるとともに、自治体によっては、入札参加資格審査で加点を受けることができます。
  - ⑤ **低利融資制度が受けられる!**：銀行、信用金庫、信用組合など多くの金融機関で、認証・登録事業者への低利融資制度が行われており、この制度を利用することができます。  
※金融機関等によるエコアクション21関連融資については、エコアクション21中央事務局のホームページに掲載されています。
  - ⑥ **社会からの信頼を獲得できる!**：環境省のガイドラインに基づき、第三者機関の認証を受けることで、社会的な信頼を得ることができます。さらに、環境活動レポートを作成し、外部に公表することによって、取引先やお客様等からの信頼性が向上し、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）を果たすことができます。

エコアクション21認証・登録制度の詳細等については、中央事務局のホームページをご覧ください。

<http://www.ea21.jp/index.html>

04

# 対談

エコアクション21が創る環境経営のいしずえ



## 環境経営で 大転換時代を勝ち抜く

～これからの環境対策と企業経営のあり方～

### エコアクション21で 環境と経営を融合

環境省

地球環境審議官 小林 正明

### グループ全体で質の高い 環境への取り組みを

富士重工業株式会社

代表取締役社長 吉永 泰之

### 企業の集い場を広げて さらに大きな輪へ

一般財団法人 持続性推進機構

理事長 安井 至

## エコアクション21で 「わ」を創ろう

企業価値向上ツール「エコアクション21」のすすめ Vol.2

～バリューチェーンの価値向上に取り組む、大手・中小事業者の実践例～

CONTENTS

## 事例紹介～環境コラボレーション

### 10 製造業に見る 環境コラボレーション

個々の環境意識を大切に  
グループ全体の環境力を  
高めていきたい

株式会社明電舎 × 有限会社東栄工業



### 12 流通業に見る 環境コラボレーション

「食」を扱う共同体として  
環境への自主的な取り組みを  
推進しています

株式会社セブン-イレブン・ジャパン

日本デリカフーズ協同組合

×

プライムデリカ株式会社



## 14 **金融業** に見る 環境コラボレーション

### この街のホームドクターが 地域企業の環境活動を支えています

大阪信用金庫 × 進栄化工株式会社



## 16 **建設業** に見る 環境コラボレーション

### 緩やかな連携が 人材育成と環境活動をつなげています

全国建設業協同組合連合会 × 小林工業株式会社  
群馬県建設事業協同組合



## 18 **産廃処理業** に見る 環境コラボレーション

### 環境経営で若い世代を育み 業界の未来をつくっていきます

全国産業廃棄物連合会 × 浜田化学株式会社  
兵庫県産業廃棄物協会 × 有限会社ダイハチ



## クローズアップ!

地域・業界で輝きみなさんにお伺いしました  
私たちエコアクション21で頑張っています!

## 20 **食品**

お客様や取引先様のみなさまと  
環境活動の輪を広げています

サッポロビール株式会社



## 21 **観光**

お客様に喜んでいただける沖縄を  
お客様と一緒に守っていく

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ



## 22 **教育**

教育の一番札所は  
地球環境の一番札所を目指します

国立大学法人鳴門教育大学



## 23 **医療**

医療に携わるものとして  
環境経営を通じて人も地球も救いたい

静岡済生会総合病院





個々の環境意識を大切に  
グループ全体の環境力を  
高めていきたい



株式会社明電舎

資材グループ長  
村嶋 久裕

環境戦略部長  
堀越 論

グループとして「環境基本理念」の下、様々な環境行動、取り組みを実践している株式会社明電舎。グループ企業はもちろん、取引先である協力会社にも環境経営を知り、積極的に取り組んでもらいたいと、エコアクション21中央事務局・地域事務局が無料で提供する「関係企業グリーン化プログラム (GP)」を導入、昨年度から運用を開始され、初年度にも関わらず、エコアクション21の認証取得企業を生み出しました。

その明電舎からの誘いに応え、プログラムに参加した有限会社東栄工業。プログラムの恩恵を受け、10年の時を経て、エコアクション21の認証を取得するに至りました。板金加工を主要な事業とする同社には、明電舎もその将来を期待していると言います。



有限会社東栄工業

代表取締役社長  
森田 茂

専務取締役  
森田一茂

株式会社明電舎

企業が企業のEMS導入を支援する制度に  
環境への取り組みが推進できると考えました

グリーン調達をいかに増やしていくか、その比率をどのように上げていくかが、ひとつの課題でした。それには調達品を納入されている取引先企業、明電舎のものづくりを支えていただいている協力会社の皆様に、環境に向き合っていただく必要があると感じました。そうしたなか、企業が企業のEMS導入を支援する制度「グリーン化プログラム」の存在を知り、これを使えば環境への取り組みを推進していくことができるのではないかと考え、導入、実施することにしました。

協力会社は、規模の大きなところばかりではありません。むしろ中小規模の企業が数多く、そうした企業にISO14001は敷居が高いように思います。エコアクション21は、中小企業での導入を意識した作りで、これから取り組もうとする中小の協力会社には、費用やしぐみのシンプルさなど、まさにぴったりのEMSでした。

環境活動は環境対応ができるだけにとどまりません。エコアクション21に取り組むことによって、企業リスクを減らすことができ、それは社会貢献、CSRにつながります。生産性も上がり、利益も生まれる。ものづくりの質を向上させる要素も

ぎっしり詰まっています。単に環境のためにやるのではなく、複合的な活用、メリットがあることを伝えて、自主的な取り組みを促しているところですよ。何事もやらせられ感ではダメなんじゃないでしょうか。本業に生かせるツールであることに気づいていただけた企業から、認証取得へ前向きになっていただけている印象です。

勉強会での参加企業のつながり  
不安や悩みの共有、そして緩やかな競争心が  
モチベーションにつながっているようです

集合教育である勉強会では、参加企業の間で横のつながり、コミュニケーションが生まれているようです。不安や悩みの共有、緩やかな競争心が、その後のモチベーション維持にもつながっているのではないのでしょうか。複数回の集合教育の合間に、それぞれの企業の理解度、進捗度に合わせ、効果的にEco-CRIPを組み合わされたのも、プログラム実施1年目でエコアクション21認証取得企業を生み出した要因だと思っています。

導入

エコアクション21は「社内管理プログラムの総合パッケージ」  
社内のあらゆるシーンに活用できるツールと捉えています

よく聞かれるのが「導入しても効果のほどがわからないのでは」というものです。それでもプログラムに参加し、エコアクション21を導入した企業からは、「社内管理にも効果が実感できる」との声が届いています。私どもではエコアクション21を、社内のあらゆるシーンで活用できる「社内管理プログラムのパッケージ」と捉え、取引先企業にも複合的で体系的な管理ツールの側面を訴求することで、導入へ積極的になっていただけるよう努めています。

環境に対して何かしなければいけない、ただ何をしていいかわからない。

当社のグリーン化プログラムの取り組みが、そうした協力会社の背中を押してあげられるとしたら——とてもうれしく思います。企業の皆様が考えている環境対応と、世の中がその企業に期待している環境対応には、少なからずギャップがあると思います。そのギャップを埋めるためにも、エコアクション21のようなツールは非常に有効なものではないのでしょうか。これまで漠然としていた協力会社の中に宿る「企業としての環境意識」を気づかせ、それを発現するきっかけにもなっているのではないかと考えています。

成果

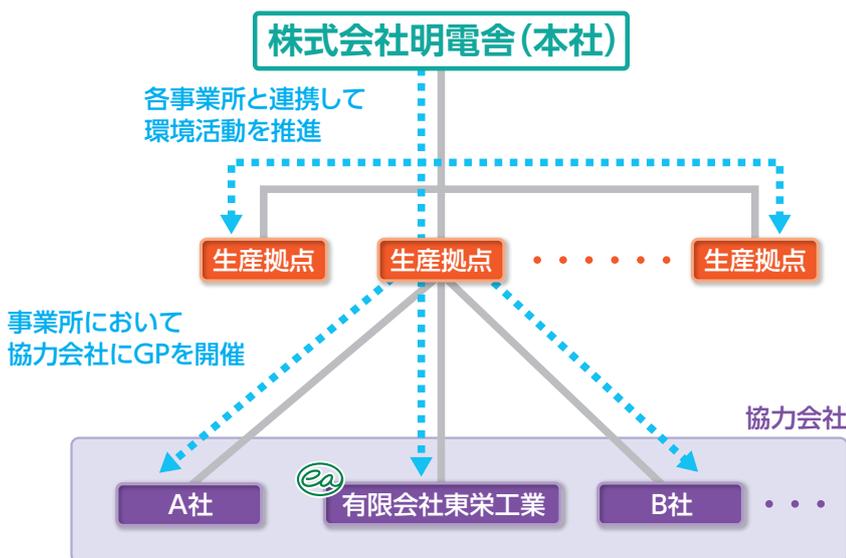
環境への取り組みに対する要求をどのようにバリューチェーンへ落とし込んでいくのか。  
グリーン化プログラムを継続してその要求に応えていきたい

エコアクション21中央事務局・地域事務局の支援によって、グリーン化プログラムを導入、展開できていることにとっても感謝しています。一企業が、自分たちだけでやるとしたら大変と言いますが、実施費用も含め厳しいのではないかと思います。こうした制度をうまく活用させていただくことで、明電舎の、まさに生産工程の一部を担う協力会社に対して環境経営への道を開き、バリューチェーン全体の強化を図っていきたくて考えています。

私どものようなグループ、バリューチェーンを統率する立場の企業では、世の

中から、環境への取り組みに対する強い要求があります。この要求を、どのようにしてバリューチェーンを構成する取引先企業に落とし込んでいくのか、バリューチェーン管理の手法も問われています。この課題を解決する、取引先企業・協力会社の環境活動を支援する上で、グリーン化プログラムは大変ありがたい制度だと思います。来年度もこの制度のメリットを最大限に活かして、エコアクション21の認証取得企業をひとつでも増やし、バリューチェーン全体での環境活動を底上げできればと考えています。

課題



## 株式会社明電舎

〒141-6029 東京都品川区大崎二丁目1番1号  
ThinkPark Tower(本社)  
【事業内容】 発・変電等エネルギーシステム、水処理システム、情報通信システム、産業システム等の開発、生産、販売、サービス

## 有限会社東栄工業

〒411-0824 静岡県三島市長伏 155 番地の 1  
【事業内容】 精密板金加工、配電盤・制御盤・監視盤等の電設盤類の設計制作  
【EA21 認証・登録番号】 0011076 (最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0011076.pdf> をご覧ください)

### 有限会社東栄工業

#### きっかけは明電舎さんからの声掛けです

直接のきっかけは、明電舎さんからの声掛けです。環境への取り組みをグループ全体として進めていくなかで「グリーン化プログラム」へのお誘いを受けたことが、エコアクション21導入につながりました。実は10年ほど前にも一度、導入を検討したのですが…そのときは、決断できませんでした。ただ、時代の流れなのか企業の環境活動に注目が集まるようになり、一企業としての責務を考えるようになってきて…お声掛けをいただいたのは、まさにそのようなときで、お客様に安心・安全をお届けできる企業でありたい、そして東栄工業をより良い企業としたいとの思いから勉強会への参加、そして認証取得を決めました。

#### 従業員の誇らしい笑顔に エコアクション21導入を決断して本当に良かったと思いました

エコアクション21という公的認証の取得が認められたことで従業員ひとり一人がプライドを持てるようになったこと、そして、従業員の前で取得を報告したときにみんなが誇らしい笑顔を見せてくれたこと—エコアクション21導入を決断して、本当に良かったと思いました。

#### 勉強会は本当にありがたかったひとりぼっちにならなかったことは大きい

勉強会は本当にありがたかったです。はじめは不安でしたが、教室を見渡せば顔見知りの仲間がいて、不安や悩みをざっばらんに話すことができました。ひとりぼっちにならなかったことは大きいです。環境に関する関連法規等は、とにかくわからない言葉だらけで、講師をいつも質問責めでした(笑)。一つひとつ疑問を解決できたのは、明電舎さんのプログラムのおかげだと思っています。法令に関する持ち帰り事項を従業員と共有することで、自然とコミュニケーションが深まり、職場の雰囲気さがさらに良くなったと感じています。集合教育のプログラムでは理解できなかったこと、つまりいたことを、講師の個別訪問により教えていただいたことも、大変助かりました。Eco-CRIPと言うそうですが、集合+個別という明電舎さんの心遣い、手厚いサポートに感謝するとともに、環境活動に対する熱い思いを感じて、認証取得まで頑張る勇気ももらいました。

#### 「自ら考える力」「問題解決していく力」を生むエコアクション21は人の心を動かせるツールなのだ実感しています

エコアクション21の認証を取得してまだ日も浅いのですが、環境にとどまらない、人の心を動かせるツールなのだあらためて実感しています。エコアクション21の取り組みは、社長をはじめ全従業員が同じ方向を向いて、やるべきことを共有することが基本だと思っています。会社でのあらゆる行動をエコアクション21と絡めることで、「あれもエコだよ」「これもエコだよ」と職場の中でも自然なコミュニケーションが生まれ、言われて動くのではなく自分たちが考えて動くという常に「矢印」を自分に向

け「自ら考える力」、「問題解決していく力」がついてきたと思います。こうして従業員ひとり一人の力が成長するツールとして、エコアクション21は思いがけず素晴らしい効果をもたらしてくれました。こうした気づきもあって、当社での環境への取り組みは、とても良いスタートが切れたと思っています。

#### 会社成長への手応えを感じさせるエコアクション21 その良いところを仲間に伝えていけたらいいですね

いろんな人間が集まっているのが会社、企業じゃないですか。その一人ひとりが力をつけて、物事を「何とかする」「何とかしていく」人間が増えれば、その会社、企業は成長すると思うんです。そうしたエコアクション21の副次的な効果に、会社成長への大きな手応えを感じています。また、違う世代の人間が集まる場所でもあるので、世代を越えて同じ価値観を生み出せるエコアクション21の取り組みは、従業員が一つにまとまるツールとして力を発揮してくれていると思います。これからもエコアクション21を

絡めた企業活動を通して、従業員みんなと良い時間を過ごしていけたらと願っています。そして、環境という枠組みにとらわれることなく、それぞれの会社に見合った取り組みができるエコアクション21の良いところを、以前の私のように決断できないでいる仲間に伝えていけたらと考えています。それが、認証取得までを支援くださった明電舎さんへの恩返しだと思っています。

### 「食」を扱う共同体として 環境への自主的な取り組みを 推進しています

### プライムデリカ株式会社

株式会社セブン-イレブン・ジャパンのオリジナルデイリー商品を製造・納入する企業を取りまとめているのが日本デリカフーズ協同組合です。様々な取り組みのなか、加盟する各企業と連携、安心・安全なラインアップを揃えることでお客様の期待と信頼に応えています。

日本デリカフーズ協同組合の加盟企業であるプライムデリカ株式会社は、店舗に並ぶサラダ・サンドイッチ・軽食・惣菜・デザートを製造、毎日安心・安全な商品を作りお届けすることを大切にしています。

今回紹介する相模原工場では、日本デリカフーズ協同組合と連携してエコアクション21の認証を取得、事業活動における環境負荷軽減を図るとともに、人にも自然にもやさしい環境保全活動へ積極的に取り組んでいます。



プライムデリカ株式会社

#### 日本デリカフーズ協同組合

#### 加盟企業が取り組みやすいシンプルなEMS

#### 環境と経営をつなげていくツールとしてエコアクション21はよく考えられています

日本デリカフーズ協同組合(NDF)がエコアクション21を紹介している背景には、加盟企業68社180工場のうち、大手5社が半分、残りは中小企業という組合構造があります。ISOではついていけない企業も現れてくるのではないかとというリスク。それでは全く意味がありません。そこで、加盟企業が取り組みやすいシンプルなEMSであるエコアクション21を環境対策会議の旗印として、環境に係る様々な情報を収集、整理、発信しています。環境省のエコアクション21は、シンプルでありながら加盟企業にとって取り組みやすいところが評価されます。環境と経営をつなげていくツールとしても考えられていて、こうしたシステムの持つ優れた部分は、もっと企業のトップにも自覚していただきたいと考えています。エコアクション21と知り合えたことは、とてもいい出会いだったと感じています。

セブン-イレブン・ジャパンでは「商品、原材料、エネルギーの無駄を省き、地球環境の保全に貢献します」という約束の実現に向けて、地球環境の持続可能性に配慮した商品・サービスの提供を行うとともに、お客様・お取引先・従業員とも協力し、サプライチェーン全体で環境負荷の低減に取り組んでいます。

オリジナルのデイリー商品を製造する工場では、日本デリカフーズ協同組合が「NDF環境対策会議」を開催し、セブン-イレブン本部と加盟企業との情報共有や共同施策を推進、全国工場における省エネの取り組みや廃棄物の管理・リサイクルに注力しています。

導入

#### カテゴリ別原単位による比較も良い刺激に。

#### エコアクション21の特長を活かして加盟企業を組織としてつなげていきたい

日本デリカフーズ協同組合では、これまでも加盟企業が組織としてつながっていく、組合活動の一つひとつをつなげていくしくみ、ツールを探していたところ。環境活動も、まずは自分を知ること、それも客観的に知ることが大切であり、そのためのツールとしてエコアクション21は有効だと考えています。さらに組合では、個別に数値化された環境活動を、製品カテゴリや工場規模などを考慮した原単位で分析、相対的な自社の位置がわかるような情報に加工して開示するようにしています。その結果、本当の自分の位置、環境活動の成果がわかるようになり、それを環境対策会議にフィードバックすることで、その後の会議

運営につながっています。とりわけ規模も製品も類似している企業同士では、こうした客観的な比較が良い刺激になっているようです。

地球温暖化防止に向けた取り組みなど純粋な理念で動く部分と、こうした他との比較で動かされる部分とが相まって、環境活動の原動力につながっていくのだと思います。さらに、加盟企業の工場は全国に散らばっており、全国区の公正・公平な基準は必須です。カテゴリ別原単位による比較は、こうした要求にマッチしたのではないかと考えています。

成果

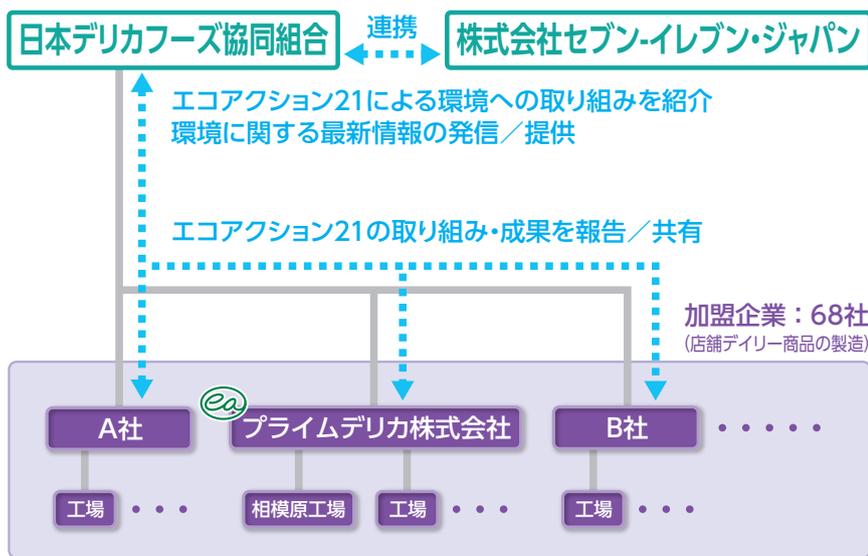
#### 「やってくれ」ではなく「やってみよう」と思わせることが大切だと考えています

セブン-イレブン・ジャパン、日本デリカフーズ協同組合ともに、取引先企業には自主的な活動をお願いしているところになります。NDF環境対策会議においても、これは同じです。環境マネジメントシステムの導入も、強制ではなく、あくまでも加盟企業の自主性、自主的な活動にゆだねています。一方で、審査人の知見を広く伝えたり、環境関連法制の整備・改正情報をいち早くキャッチして発信したりと、情報発信・共有のサービスには継続的に力を注いでいき、エコアクション21の取得メリットについても会議などで伝えていくつもりです。加盟企業に「やってくれ」ではなく、「やってみよう」「やりたいな」と思わせる

こと、これが大切だと考えています。

製造工場ですので、品質保証の認証は取得済みですし、そういった意味では、EMS導入の土台は各企業に根づいています。その土台に、環境やその他のシステムが順次乗っかっていくイメージですから、導入の障壁は、他の業界よりも低いはず。食品リサイクル率でもそうですが、今は「1社で取り組む」から「グループ全体として取り組む」時代です。エコアクション21を、ゴミの分別一つでもバラバラの現状を気づかせてくれる、利用しやすい道具として捉えていただける加盟企業を増やすため、これからも啓蒙活動を続けていきたいと思っています。

課題



環境を通じた交流・環境意識の向上

## 株式会社セブン-イレブン・ジャパン

〒102-0084 東京都千代田区二番町 8 番地 8

## 日本デリカフーズ協同組合

〒102-8456 東京都千代田区二番町 10 番地 3  
ビーエム長野ビル 4 階

## プライムデリカ株式会社

〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台一丁目七番一号  
(本社・相模原工場)

### 【事業内容】

調理パン、デザート、サラダ、軽食、惣菜の製造販売

### 【EA21 認証・登録番号】

0010706 (最新の環境活動レポートは

<http://www.ea21.jp/list/pdf/0010706.pdf> をご覧ください)

## プライムデリカ株式会社

実行

お客様にご満足いただける「おいしく、安全・安心な商品」を開発・製造し、地域に貢献できる企業であるために環境対策は必須です。「サプライチェーン全体で環境負荷の低減に取り組む」とされるセブン・イレブン・ジャパン、そして加盟している日本デリカフーズ協同組合の基本理念、そして考え方を共有させていただき、私たちにできることを率先して、自主的に取り組んできています。その結果が、エコアクション21の認証取得ということになります。

### 弾力的な運用、本業とリンクしやすいところ 当社がエコアクション21導入を決めた理由です

ひとりの人間として、地球温暖化問題などでは世界レベルの危機感を持って

いました。地球環境を伝える書籍にも目を通し、地球は冷やしていかなければいけないんだと、ずっと考えていました。その後、社長就任を機に会社としても地球環境保全を経営の最重要課題の一つとして、持続可能な社会の実現に向けた環境経営に乗り出すことにしました。当初は ISO14001を取得する予定でしたが、やるべきことはどちらも一緒で、エコアクション21の方が中小企業に向いていてとても取り組みやすいシステムだということが、いろいろと調べるうちにわかってきました。しかも ISOのようにがんじがらめでなく、弾力的な運用ができそうなどころにも親近感が持てました。PDCAのマネジメントシステムとしての機能と、本来業務とリンクしやすいところにも惹かれて、当社ではエコアクション21を導入することに決めました。

効果

### 廃棄物を1/10に削減 本業の収益にもつながっています

サラダ・軽食を製造している相模原工場では、レタスの外葉や芯が毎日8,000kg以上、野菜くずとして発生しています。これまで食品廃棄物として処理していましたが、コストがかかるうえに、環境にもやさしくありません。そこで「エコセンター」を新設、特殊な脱水機にかけて野菜くずを1/10の800kgまで減容化することに成功しました。これによって処理業者への委託回数が増え、廃棄コストの削減など本業への効果も出てきています。

### 協力農家さんとの二人三脚も 環境活動のひとつだと考えています

もうひとつ、エコアクション21の取り組みとして盛り込もうとしているのが、レタスの外葉を協力農家さんの方であらかじめ捨ててもらおうというやり方です。これまでは納入されてから不要部分を取り除き、廃棄物にしていたのですが、このやり方によって工場での廃棄物が減り、原材料の歩留まりも向上、同時に虫の混入も未然に防ぐことができるようになりました。農家さんの方では、取り除いた外葉が肥料の一部となり、究極のリサイクル、環境にもやさしいやり方なのではないでしょうか。

挑戦

### 協同組合の思想を引き継いでパートさんを含めた全従業員への自主的な浸透を図ります

エコアクション21は全員参加型の環境マネジメントシステムですが、社員はもちろん、パートさんを含めた従業員全員への浸透がこれからの課題だと思っています。とりわけ外国人パートさんへの理解に心を砕いていかなければと考えています。活動の成果を数値化・見える化して従業員へ展開、モチベーションの向上を図るとともに、入退場の時に必ず目にする場所に設置された、手洗い方法などを動画で見せるタブレットに、エコアクション21の案内を流すことも有効ではないかと考えているところです。

これから認証取得を目指している他の工場と合わせ、11の工場全体で「カエ

ル会」という改善活動の報告会を開催していますが、この会で環境をテーマにした発表、たとえば節水活動に取り組んだ成果報告など、パートさんを巻き込んだ活動を報告をするようになると、意識も変わってくるのではないのでしょうか。

組合からの情報発信、情報提供には、導入時もそうですが、導入してからも大変助けられています。法規制など、私ども素人にはなかなか調べきれないですし、調べてもわからないことばかりです。それを組合の方で事前に情報を収集、展開していただけるのは、組合員サービスとしてとても有益だと思っています。強制ではなく自主性を尊重され、加盟企業の総意・合意で物事を決めていく組合のやり方と合わせて、このすばらしいしくみを、いつまでも続けていってほしいですね。



# この街のホームドクターが 地域企業の環境活動を 支えています



大阪信用金庫  
CSR推進部長  
梅田 充紀

CSR推進部  
濱地 志帆

大正9年の創業以来、地元大阪の発展のために努力を続けてきた大阪信用金庫は、「この街のホームドクター」を合い言葉にお客様からいつも信頼される金融機関を目指しています。環境保全活動においてもその姿勢は変わらず、地元中小企業のみなさまに環境マネジメントシステムを導入していただけるよう、取引先の企業に対してエコアクション21の認証取得を支援する「だいしんグリーン化プログラム」を展開、地域の環境保全に積極的に取り組んでいます。

その大阪信用金庫=だいしんの思いに共感したのが、大阪市鶴見区で特殊粘着フィルム・紙粘着製品を製造する進栄化工株式会社です。だいしんが開催するセミナー、スクールに参加、様々な形でコミュニケーションを持ちながら、だいしんと二人三脚でエコアクション21の認証を取得しました。コスト削減を設備投資へ転用するとともに、ユニセフへの寄付というユニークな方法で、従業員のモチベーション向上につなげています。



進栄化工株式会社  
工場長代理  
渡邊 祥邦

代表取締役  
竹内 祐樹

## 大阪信用金庫

### 「この街のホームドクター」として自ら認証を取得しつつ だいしんグリーン化プログラム「エコアクション21スクール」を開催 工夫を凝らしてエコアクション21の認証取得を支援しています

当金庫の取引先である中小企業のみなさま、できればすべての企業のみなさまに取得いただきたいというのが、唯一の目的・ねらいといってもよいかもしれません。平成23年の11月に1回目のエコアクション21セミナーを開催させていただきました。初回にも関わらず、78社86名のみなさまにお集まりいただき、うち12社がだいしんグリーン化プログラム「エコアクション21スクール」に参加、8社が認証を取得されました。講習の内容もおおむね好評でしたので、次につながっています。取引先である中小企業のみなさまにエコアクション21の認証を取得してもらうため、環境活動を始めようとしているみなさまの助けになるため、「この街のホームドクター」として自ら認証を取得、各支店へ拡大させながら、みなさまの模範となるよう頑張っています。

「エコアクション21スクール」への高い参加率と、その後の高い取得率ですが、ひとつには本部のCSR推進部と連携して、各支店長自らが直接取引先の社長に訴えていることにあると思います。環境マネジメントシステムを導入する場合、とりわけ中小企業では、経営者の関与がその後に大きく影響します。支店長が勧誘することで経営トップに参加いただけており、社内展開もスムーズに運んでいると聞いています。もうひとつは、取得推進している私ども職員や、すでに取得されている取引先のお話を盛り込んでいることでしょうか。有識者の方々に講演いただくことはたしかに勉強になるのですが、親近感の面では、身近な話の方がセミナーでもウケがよかったです。これからも知恵を絞って、より多くのみなさまに参加いただけるよう、工夫していきたいですね。

### 大阪ならではの「オフ会」

### そこでの交流がエコアクション21導入はもちろん環境活動への相談の受け皿となり、 認証取得までたどり着くしくみ=コミュニケーションが出来上がりました

スクールでは、信用金庫らしく、参加された企業のみなさまとのコミュニケーションを大切にしています。参加されたみなさまとは、審査人やすでに認証取得済みの企業の方々をお招きして、「オフ会」なるものを開催しています。取得・導入を検討されているみなさまには、こうした非公式の場で、ざっくばらんに意見交換していただき、導入までの不安を払拭、導入に前向きになってもらえるよう、全力でフォローしています。

大阪という地域性もあるのでしょうか、この「オフ会」での交流が、エコアクション21導入はもちろん、その後の環境活動への悩みよろず相談の受け皿にもなっているようで、参加される企業のみなさまにも喜んでいただいております。せっかくスクールに参加しても、途中で続けられなくなってしまう企業さんもおられます。「オフ会」でのつながりは、こうした企業さんを作らず、最後までたどり着けるようなくみ=コミュニケーションの場と感じています。

### 地域貢献の一環で、環境に配慮した経営を行う企業を支援しています。

### 「一歩先への思い」を持ち続け、Face to Faceを大切にし、 エコアクション21の認証取得を底上げしていきたいです

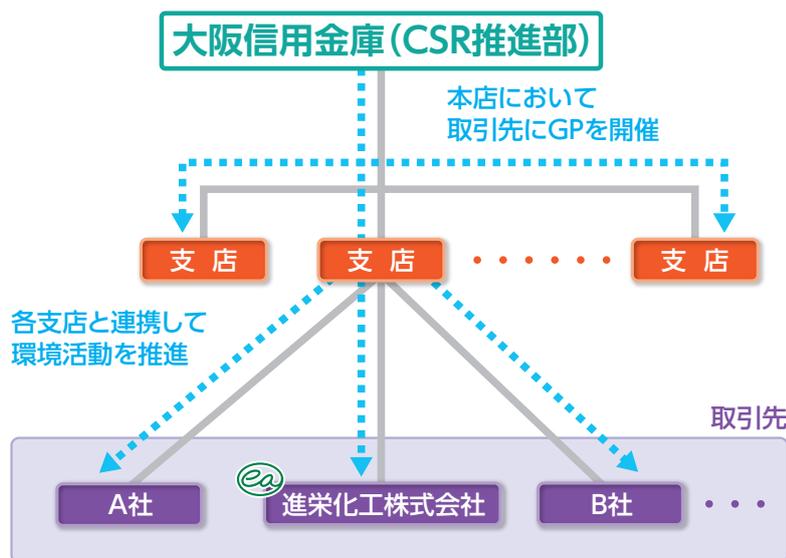
今後は信用金庫として、環境に配慮した経営を行う企業に対して、優遇策を検討していきます。その格付けをどうするのか。エコアクション21の認証を取得され、オフ会等にも参加されている会員企業のみなさまの集まりがすでにできていたりします。新たに格付けのためのルールを決めるのではなく、こうした集まりにインセンティブとして付与していければ、認証取得企業も増え、この地域の環境も良くなり、企業のみなさまは今のまま続けるだけでメリットが生まれると、良いことづくめのような気がします。

だいしんグリーン化プログラムやEco-CRIPなど、環境に対する一歩進んだ活動は、取引先をはじめとした地域企業のみなさまに「信頼できる信金」として評価いただけていると思います。この「一歩先への思い」をこれからも持ち続け、だいしんグリーン化プログラムとEco-CRIP、だいしんオリジナルのコミュニティーである「オフ会」を上手に組み合わせ、エコアクション21の認証取得を底上げしていければと考えています。

導入

成果

課題



## 大阪信用金庫

〒543-8666  
 大阪府大阪市天王寺区上本町 8-9-14 (本店)  
**【事業内容】** 金融業  
**【EA21 認証・登録番号】**  
 0006013 (最新の環境活動レポートは  
<http://www.ea21.jp/list/pdfn/0006013.pdf> を  
 ご覧ください)

## 進栄化工株式会社

〒538-0042  
 大阪府大阪市鶴見区今津中 3 丁目 9 番 29 号 (本社)  
**【事業内容】** 特殊印刷用資材販売・加工製造  
**【EA21 認証・登録番号】**  
 0009991 (最新の環境活動レポートは  
<http://www.ea21.jp/list/pdfn/0009991.pdf> を  
 ご覧ください)

### 進栄化工株式会社

実行

セミナーにお声掛けいただいたことがきっかけです。その後の4回の勉強会「エコアクション21スクール」は、1日4時間たっぷりで大変でしたが、講師の方には事細かく教えていただき、とても勉強になりました。こうした勉強会もなくて自分たちだけでやるなんて、ちょっと考えられませんね。だいしんさんには感謝しています。お声掛けには本部の方が担当営業マンと一緒に来社されて、意気込みというか、だいしんさんの本気を感じました(笑)。

### だいしんさんに声を掛けいただいたのがきっかけ、だいしんさんが認証取得されていることも大きい

だいしんさんが自らエコアクション21認証を取得されていることも大きいですね。一緒にやっている気持ちが湧いてきます。何より率先垂範が相談しやすい環境を作ってくれている気がします。押しつけるところも少しもありませんし。

### 勉強会とオフ会 だいしんさんのやり方に すっかりやられました(笑)

セミナー、スクールは、主催されているだいしんさんのやり方が上手で、参加しやすいながらも深く学ばせていただきました。講師の方も懇切丁寧で、講師1人に生徒2人というシステムも、質問がしやすく有意義でした。途中、本部の方が笑いを交えて話されたり、「オフ会」なるものを準備していたりと、その手法にすっかりはまってしまいました(笑)。とにかく企業のことを第一に、企業サイドに立った勉強会をされていることに感謝しています。「オフ会」では、もちろん酒席ということもありますが、審査人や先に認証取得された先輩の方々から、楽しくお話を聞かせていただけ、またこちらからもいろんなことを聞けたりして、とても良い交流の場をご提供いただいているなというのが実感です。

効果

### コストが利益に変わる。 従業員の慈善活動にも役立っています

エコアクション21に取り組む以前は、お恥ずかしいことに「使い放題」「捨て放題」の現場でした。クールビズやウォームビズなど、地球環境を考えなければいけないと感じてはいたものの、どこか他人事だったような気がします。それが、エコアクション21の認証取得を契機に、はっきりとみんなの意識が変わりました。今では従業員ひとりに省エネが根つき、ゴミも「ただ捨てる」から「資源として活かす」ための分別が進んで、これまで廃棄処理していた段ボールなどが資源としてお金を生んでくれています。こうして生まれた収益で、頑張った従業員みんなで食事を囲むこともありますし、

もちろんこれを原資として照明のLED化や新設した太陽光パネルの償却費に充てていたりします。さらに私どもでは、エコアクション21を「命のための行動」につなげることに取り組んでいます。具体的には、みんなが環境活動で作り出した利益をユニセフに寄付、世界各地にワクチンとして届けていただき、社会貢献につなげています。何も特別なことをしているわけではなく、普段の心がけだけでワクチンを届けられる——個人ではなかなかできない「寄付」という形の社会貢献、これがひとり人の誇りとなって、次の行動へのモチベーションにつながっていると思います。これからもこうした「思い」の部分は大切にしていきたいと考えています。

挑戦

### これからもだいしんさんと一緒に、 環境活動を継続していきたい

エコアクション21の勉強会はもとより、我々企業に対していろいろなケアをしていただいているのがだいしんさんです。ただの信用金庫さんではありません、まさに「この街のホームドクター」の言葉どおりです。信金ならではの企業を大切にしている気持ちは信頼できますし、私どももお世話になっています。だからこそ、その恩返しではないですが、だいしんさんがやるなら、やろうと言うならの思いでエコアクション21の認証取得に踏み切ったといえるかもしれません。

環境活動に限らず、上からの押しつけではうまくいかないことも多いです。エコアクション21が従業員に浸透していった最大の理由は、「一緒にやってくれんか」という姿勢だったと思います。加えて、削減で生まれた収益を食事会や寄付といった形で従業員みんなが達成感を得られるように見せてくれたことも、深く広まることにつながったのだと思います。普通に仕事＝本業を進めていく中で、自然と環境問題に取り組めるエコアクション21、そしてだいしんさんと一緒に、これからも環境活動を継続していければと考えています。

緩やかな連携が  
人材育成と環境活動をつなげています



小林工業株式会社



全国建設業協同組合連合会  
会長 青柳 剛

全国建設業協同組合連合会（略称：全建協連）は、全国の41の事業協同組合（連合会）を会員とし、「人を大切にする建設業」を目指した協同組合活動を行っています。業界として必須とされる環境への取り組みは、教育情報事業の一環として展開し、各会員組合と連携することにより、所属員企業のエコアクション21認証・取得を支援しています。群馬県建設事業協同組合（略称：群馬協組）は、所属員企業と全建協連をつなぎ、エコアクション21認証取得の勉強会を開催し、所属員企業の環境に対する行動意識を高めるための架け橋になっています。

そして、この勉強会に参加したのが、小林工業株式会社です。開催された無料勉強会の参加をきっかけに認証を取得、活動一年目にしてその活動事例を全国大会で発表するまでに成長した企業です。個社を越えた“緩やかな連携”が、地球に優しい建設企業を増やし、業界全体のイメージアップに貢献しています。



小林工業株式会社  
代表取締役社長 小林 要一

全国建設業協同組合連合会／群馬県建設事業協同組合

環境は時代の要請。より多くの会員組合および所属員企業が環境問題に取り組めるよう「エコアクション21認証・取得支援プログラム」を実施しています

低コストで認証を取得しやすいのがエコアクション21の特長です。全建協連では、教育情報事業の一環として「エコアクション21認証・取得支援プログラム」を実施し、会員組合の協力の元、認証取得のための勉強会を年4回無料で開催し、取得を目指す会員組合・所属員企業をサポートしています。

さらに、全建協連の事業のひとつである総合補償制度では、認証取得企業に対して5%割引を実施し、取得後のメリットを創出することにより、所属員企業が認証取得を前向きに検討できる環境を整えています。

地元の会員組合がエコアクション21の勉強会を開催することにより、地域密着性も高く、「参加しやすい」と好評を得ています。加えて建設業に特化した内容で実施しているため、受講する所属員企業にとっては、有意義な勉強会になっていると思います。さらに、昨年度より実施されたEco-CRIPを新たに採り入れることでマンツーマン形式の勉強会スタイルを可能とし、少人数の参加企業が集まらない会員組合でも、勉強会の開催を容易にしました。

導入

エコアクション21は「見える・考えるためのツール」環境活動の見える化が職員・社員のモチベーションにつながるのにはエコアクション21の効果と言えるのではないのでしょうか

エコアクション21は「見える・考えるためのツール」。エコアクション21による環境活動の見える化は、職員や社員のモチベーションにつながっていると思います。みんながバラバラではなく、ひとつにまとまることのできるもの——そういうツールでもあるエコアクション21を、多くの会員組合、所属員企業が取得することで、企業の求心力も向上するのではないのでしょうか。エコアクション21はそうしたツールとして大変有効だと考えています。

群馬県には県の推進する「群馬GS認定制度」がありますが、その認定が容易であるため、企業の差別化にはエコアクション21が有利という意見もあります。また、群馬協組自身がエコアクション21認証を取得することは、環境問題の解決

のみならず、取得した所属員企業の価値や評価を向上させ、企業の経済活動への効果・貢献が見込まれると考えています。

さらに、全建協連が行ったアンケートでは「環境活動が会社のイメージアップにつながった」「環境に対する社員の意識が向上した」の声も多く集まり、エコアクション21の波及効果に驚いています。

成果



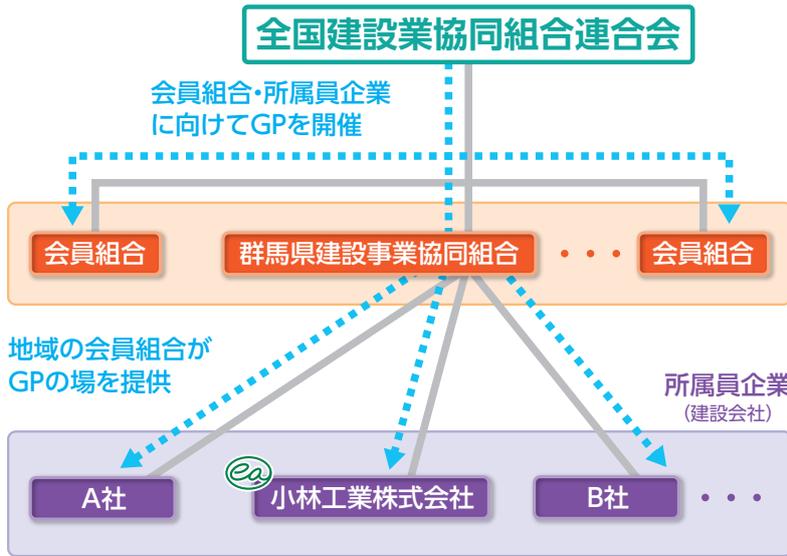
「やりっぱなし」からの脱却として認証取得後のフォローアップができたらいいですね  
困難な課題ですがこれから挑戦していきたいです

これまで全建協連では勉強会を実施してエコアクション21の認証・取得を推進してきましたが、反面、勉強会までのサポートに終わってしまい、その後のフォローアップが不十分だったと感じています。人的にも費用的にも厳しい状況ですが、全国からエコアクション21の認証を取得された所属員企業に集まっていただき、研修・懇親の場を提供できたらいいなと思っています。

これは全国にネットワークを広げる、全建協連の強みでもあり、そうしたフォ

ローが、県および地域を越えた所属員企業の連携、横のつながりを生むきっかけになればと考えています。人を大切に育てていくためには「やめないこと」、「これからも仕掛け続ける」ことが大事なのだと思います。所属員企業の環境活動が継続、活性化され、業界全体のイメージアップが図れたらうれしいですね。

課題



### 全国建設業協同組合連合会 (全建協連)

〒104-0032  
東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館4F

### 群馬県建設事業協同組合 (群馬協組)

〒371-0846 群馬県前橋市元総社町 2-5-3  
【EA21 認証・登録番号】  
0008644 (最新の環境活動レポートは  
<http://www.ea21.jp/list/pdfn/0008644.pdf> を  
ご覧ください)

### 小林工業株式会社

〒371-0024 群馬県前橋市本町 2-11-8 (本社)  
【事業内容】 総合建設業  
【EA21 認証・登録番号】  
0010194 (最新の環境活動レポートは  
<http://www.ea21.jp/list/pdfn/0010194.pdf> を  
ご覧ください)

### 小林工業株式会社

#### 地元群馬で組合主催の勉強会に 参加できたことが始まりです

私どもの建設業は、環境問題に深く関わっていますが、東日本大震災を転機に環境への意識や貢献について、社内でも話題に上るようになりました。ただ、何をどうすればよいのか、正直まったくわかりませんでした。そうしたなか、組合主催でエコアクション21認証・取得のための勉強会を実施していただいたことが、とても大きかったと思います。告知も丁寧で、何よりいつもお世話になっているという安心感、地元ならではの親近感も大きかったように思います。自分たちの力で一から始めるのでは、なかなか難しいのではないのでしょうか。

#### 身近なできることから始める

「身近なできることから始める」をキーワードにして、社員ひとりひとりが省エネルギー・省資源化に高い意識を持ち、日々環境活動に取り組んでいます。こうした、形式的ではなく実務的なところもエコアクション21を選んだ理由のひとつです。私どものような小さな組織がひとつにまとまるためには、何かシンボリックな、ツールのなものがきっかけだったりするのですが、エコアクション21はそれにぴったりのしくみでした。

#### 見える化から見せる化へ 企業アピールにもつながっています

環境レポートを提出するというエコアクション21のルールは、社会貢献や環境に配慮した取り組みを、外部の方に知ってもらうきっかけになりました。それが企業イメージの向上、企業のブランド化につながり、さらに社員へとフィードバックされることで活動の励みになるという、とてもいいサイクルができてきたと思います。環境活動を可視化した「本業に関わる目標シート」をきっかけにエコアクション21全国大会に招待され、全国の企業の皆さんの前で自分たちの活動事例を発表できたことは、とても誇らしく、「少しは目立てたかな?」と感じています(笑)。

日々の仕事のなかでひとりひとりを成長させ、同時に業務改善や経費削減などの環境経営につなげていけるのが、エコアクション21に取り組む大きなメリットだと思います。

社員全員が同じ目標に向かって活動する、自分たちのできることをする、他の社員がやっていることが見えるなど、エコアクション21の特長的なしくみやメリットについても、エコアクション21で環境活動を始めてから気づかされました。



#### ITで省エネ・仕事の効率化を実現、環境活動へと 昇華させていきたい

今までは設備投資を含めたハード的な対応がメインでしたが、今後やりきってしまうことも考えられます。これからはハードからソフトへ、これまで疎くて、どこことなく敬遠していたIT化についてももしっかり勉強して、積極的に採り入れていこうと考えています。具体的には仕事面でのソフト的な効率化、たとえば書類自体を不要にする、今まで5工程だった業務を3工程するといったことを、ITを使った業務改善で実現して、それを環境活動へと昇華していければ…今、活動の未来をそうイメージしていたりします。

社員の行動指針のひとつに「私は将来のビジョンを描き、常に向上心を持って自己改革に取り組みます」とありますが、環境活動においても、IT化を含めたビジョンをしっかりと定めて、向上心を持って当たっていきたくて考えています。群馬県の所属員企業では、エコアクション21の認証取得企業が21社とまだ少ない状況と伺っています。全国大会での事例発表を励みに、協会の中でも環境配慮に進んだ企業、先駆的な企業として、モデルケースになれるように頑張っていきたいと思っています。

実行

効果

挑戦



### 環境経営で若い世代を育み 業界の未来をつくっていきます

### 浜田化学株式会社 有限会社ダイハチ



全国産業廃棄物連合会 会長 石井 邦夫  
兵庫県産業廃棄物協会 会長 白石 旬

ビジネスそのものが環境と密接につながっている産廃処理業界。廃食用油のリサイクルを主要事業とする浜田化学株式会社では、「環境ビジネスを通じて地球環境の改善と人類の発展に貢献」するため、本業にもエコアクション21の手法を採り入れ、環境とともにマネジメントにも強い人材の育成に取り組んでいます。そして、「共存共栄」の精神で持続可能な循環型社会の構築を目指す有限会社ダイハチは、大切な地球資源である鉄・非鉄金属の再資源化を通して人の未来を考える企業です。

どちらも兵庫県で活躍される産廃処理企業ですが、環境への取り組みが先進的であると紹介されています。ともに「信頼される環境産業であり続けるために」を標榜する一般社団法人兵庫県産業廃棄物協会に属する会員企業である両社は、まさにその牽引役となっているようです。



浜田化学株式会社 代表取締役社長 岡野 嘉市  
有限会社ダイハチ 武本 かや

#### 全国産業廃棄物連合会

#### 優良認定制度の普及促進のため、エコアクション21の導入を推奨します

産業廃棄物処理業は、1970年の「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（廃棄物処理法）の制定によって誕生した産業です。循環型社会の構築という時代の変化により、当業界も資源・エネルギーの回収・転換を促進する資源循環産業へと大きく変貌しつつあります。

我々が掲げる「環境を守り、産業を支える」というスローガンを、適正処理のみならず、資源循環・エネルギーの創出を通して実現できるように取り組んでいます。このような中において、廃棄物処理法の優良産廃処理業者認定制度のさらなる普及が必要と考えており、同制度の認定を取得するために必須事項の一つである

エコアクション21は、当業界が環境経営を実現するための重要なツールであると考えています。

環境問題が避けては通れない業界ですので、各所属企業において、環境マネジメントシステムへの理解をより深めていただく必要性を感じています。こうした普及パンフレットを通して全国規模で普及促進を図っていただくと共に、私も業界団体としましては、優良認定制度のさらなる普及の観点から、エコアクション21の業界への浸透を図ることが大切であると考えています。

導入

#### 兵庫県産業廃棄物協会

#### 「リサイクルすればいい」から「効率のよいリサイクル」へ 「環境にやさしいだけの活動」から「経営を意識した活動」へ エコアクション21での成功事例をもっと広く知らせていきたい

環境マネジメントシステムという、どうしても形式的なものに陥ってしまう傾向があります。導入への決断、導入への一歩として、エコアクション21認証取得企業の成功事例を紹介する場を増やしていきたいと考えています。そして、グリーン化プログラムにも経営者自らにご参加いただき、このシステムの有効性を是非経営者の方々に知っていただきたいと思えます。「環境にやさしいだけの活動から経営を意識した活動へ」、エコアクション21で環境経営に取り組む企業が増えていく、そのためのサポートに全力を上げていきたいと考えています。

産廃処理業界も、「リサイクルすればいい」から変革の時期にきています。これまでのようにただリサイクルしていくのではなく、「いかに少ない資源で効率よくリサイクルしていくか」にシフトしていくことで、会社としての利益を生み出していかなければなりません。そうした業界の質的变化に対応していくためには、エコアクション21を採り入れることが大きな力になると思います。協会としては、これらを会員の皆様方に伝え、多くの企業にエコアクション21の認証を取得していただきたいと考えています。

成果

#### エコアクション21で培った考え方・やり方を事業活動に活かし 取引先を巻き込みながら業界全体の発展・繁栄を目指していきたい

##### 浜田化学株式会社

会社の中に審査員の資格を持った社員、それも若い世代の社員を育てたいと考えています。環境意識、環境経営意識の高い社員が、取引先への環境対応を、本業の中で促していく。こうして、バリューチェーンの中で環境への意識向上を図り、環境リスクを削減していくことで、廃棄物の不正処理などの問題発生を未然に防ぎ、業界全体の地位も向上していくのではないのでしょうか。

さらに、本業である事業活動のマネジメントに、エコアクション21を使っていくということです。エコアクション21のガイドラインや行動指針などに記載されている文面から「環境」の文字を取っていってしまうと…経営者には馴染みのある、企業マネジメントのPDCAサイクルと同じになるんですね。実際にガイドラインの一部を引用して研修会の資料にさせていただくなど、すでに人材を育てるツールとして活用させていただいていますが、複数のしくみ・システムを覚えるのは大変です。シンプルでフレームのしっかりしたエコアクション21を事業のあらゆる場面に活用していければ、環境活動で培った考え方・やり方を本業に活かしていけばよいので、負担になることもなく、自然と本業のPDCAも回っていくと考えています。

課題

公益社団法人 全国産業廃棄物連合会

〒106-0032  
東京都港区六本木3丁目1番17号(第2ABビル4階)

一般社団法人 兵庫県産業廃棄物協会

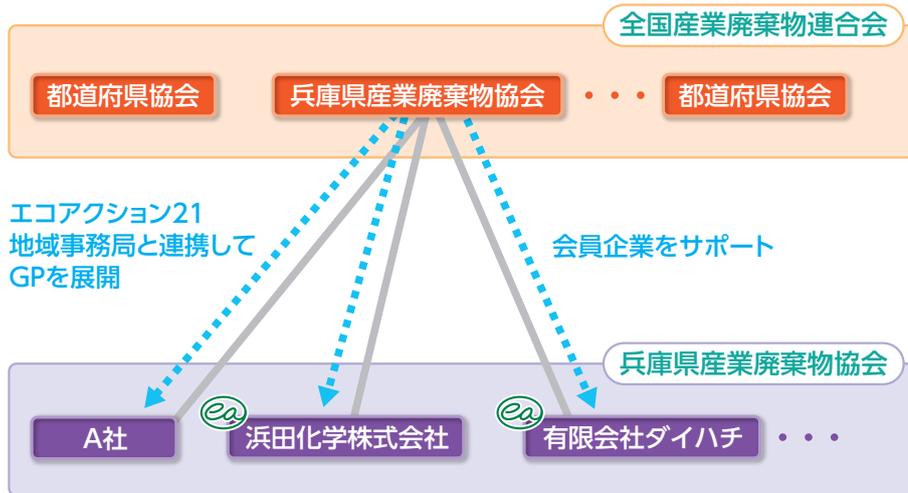
〒650-0023 兵庫県神戸市中央区栄町通2-4-14

浜田化学株式会社

〒660-0843 兵庫県尼崎市東海岸町1-4(本社)  
[EA21 認証・登録番号]  
0002427(最新の環境活動レポートは  
<http://www.ea21.jp/list/pdfn/0002427.pdf> を  
ご覧ください)

有限会社ダイハチ

〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町1丁目3番4号  
[EA21 認証・登録番号]  
0007898(最新の環境活動レポートは  
<http://www.ea21.jp/list/pdfn/0007898.pdf> を  
ご覧ください)



浜田化学株式会社 / 有限会社ダイハチ

バリューチェーンを構成する一企業として、  
環境マネジメントシステムの導入が不可欠でした

浜田化学株式会社

廃食用油のリサイクルを進めている当社では、取引先である流通大手企業からの要請を受けて、環境マネジメントシステムの導入を検討することになりました。食品偽装や不正廃棄などの問題を、バリューチェーン全体で未然に防ぐため、それぞれの企業の責任、まさにCSRのとして取り組む必要があったということです。

エコアクション21のシンプルなくみは、とてもわかりやすく、取り組みやすい印象です。更新のときに現場へのヒアリングがあることも良いところだと思います。かなり細かなところまで突っ込まれるので、現場の従業員にもいい刺激になっています(笑)。

費用対効果を考えた結果、  
エコアクション21に舵を切りました

有限会社ダイハチ

当社は、ISO14001からの鞍替えなんです。更新のたびに、その費用対効果に疑問を抱くようになって…もう止めてしまおうかと思ったとき、エコアクション21のセミナーに参加したんですね。実効性というか、パフォーマンスを重視したしくみと低予算での認証取得・更新が魅力的で、すぐにISOから切り替えました。

当社でも、外部から、世間から監視されているような、そんな緊張感がプラスに働いていると考えています。コスト削減→利益創出→エコへの還元といった循環型環境活動のパフォーマンスを上げると共に、活動に携わる従業員のモチベーションを高めてくれています。

人材育成のツールとしてエコアクション21  
は秀逸、PDCAのサイクルを覚えるのにこれ  
ほど適したものはありません

浜田化学株式会社

エコアクション21を通して環境活動に取り組むことで、環境に対する従業員の意識が変わった、向上したと思います。当社を始めこの業界では、いかに人を育てていくかが大きな課題となっています。エコアクション21は、環境という軸とPDCAの考え方で従業員教育を図ることのできる、秀逸な人材育成ツールだと思います。当社では、従業員教育の一環として、これからもエコアクション21のいいところを活用していければと考えています。

エコアクション21で揃った再資源化率のデータが新しい  
仕事を呼び込み、本業の売上向上につながっています

有限会社ダイハチ

環境マネジメントシステムというと、経営層だけで事を進めてしまい、現場は訳も分からず、ただ言われるままにゴミやCO<sub>2</sub>の削減に邁進するだけのことが多いのではないのでしょうか。エコアクション21は、削減目標も結果も数値化して見えるので、目的もはっきりして、現場での行動に意識の変革が見込まれます。

こうした数値の見える化は、コスト削減につながり、それは会社の利益となります。これはどちらの会社さんでも同じだと思うんですが、当社では、営業の場面でも生かされています。営業先でお客様と話す中で、数値化した資料を基に「再資源化率」などを説明することで、新しい仕事へのご理解をいただき、売上向上につながっているケースもあります。

エコアクション21は人の未来を育ててくれるもの  
それをしっかりと従業員全員に伝えていくことに尽きます

有限会社ダイハチ

審査人の敷居を低くしてもらったら…そうですね、社内の新人にも資格を取らせたいんですが(笑)。とりあえず環境に関するカウンセラーを社内に置いていきたいですね。エコアクション21を継続するための後継者育成にもつながると思いますし、何より環境を理解、エコアクション21を理解して人に伝えることのできる人材を育てることは、社会人として環境・社会に責任を持って行動し、価値を提供できる人を育てることと同じだと思うんです。

人も建物も、そして未来も、しっかりとした土台がないと成り立たないと思うんです。エコアクション21は、環境の未来だけではなく、人の未来を育ててくれるものだというところに、早く気づいてほしいですね。日本の、地球の未来のためによく言われますが、もっと身近な自分の子どもや孫の世代に、きれいな自然を残していく行為なんです。こうした基本的な考え方をしっかりと従業員に伝えていくことが、とても大切なことだと考えています。

実行

効果

挑戦

## 食品 サッポロビール株式会社



北海道本部 総務部のお二人

### ゼロからのスタートとなる営業拠点にとって エコアクション21は最適なツールでした

商品を安心・安全にお客様へ届けるためには製販一体での環境対策が必要であり、それには全社一丸となってEMSへ取り組まなければ対応できないと考えました。そこで北海道本部がすでにスタートを切っていたエコアクション21に着目し、全社で統合、全国の営業拠点へ展開していくことを決めました。エコアクション21の良いところは、その自由度にあると思います。マネジメントシステムに馴染みのない、ゼロからのスタートとなる営業拠点にとって、型にはまらず柔軟な運用が期待できるエコアクション21は最適なツールでした。「省エネ=省コスト」のシンプルな考え方も、受け入れる社員には理解しやすいものだったはずで。

### 「できることからやっついこう！」の 気持ちで始めました

生産工場は品質保証のしくみとしてISO9001、環境マネジメントシステムとしてISO14001を取得していました。こうした生産工場での取り組みに対して「営業部門ができることはないのか」、それが北海道本部でエコアクション21を導入したきっかけです。照明などの省エネや紙の使用量を削減、物流も含めた社用車のエコドライブ徹底など、営業部門でも取り組めることはありましたが、取り組みやすいエコアクション21のしくみもあって、気負わずに「できることからやっついこう！」から始めることができたように思います。

### 広告品の適正発注で廃棄コストと 製造・購入コストを削減

環境活動が営業業務と密接につながった事例に、「広告品作成の適正化による廃棄物の削減」があります。これまで営業担当者の感覚で、しかも地区本部単位で広告品の発注を進めていたため、かなりの余剰品が発生、廃棄物として処理されていました。これを業務レベルで分析、広告品の適正発注を図ることで、廃棄コストと製造・購入コストを削減することに成功、本業の収支に貢献できました。適正化は不法投棄などのリスクを未然に防ぐことにもつながり、同時に営業担当者の「需給予測力」が向上するという副産物も生まれました。各拠点、それぞれの営業担当者にヒアリングを実施して少しずつ改善してきた努力が実ったものと、営業部門として誇らしく感じています。

### 全拠点一斉の取り組み 全社で取り組む意義は大きいと思います

全拠点一斉の取り組みにおいては、共通テーマの存在も大きいです。全体でのバラツキを是正し、拠点ごとの進捗もわかるようになりました。全国の地区本部が同じ目標に取り組んでいることで、自ずと歩調が揃いますし、成功事例といった情報・知見の共有、水平展開や連携などのメリットもあり、全社で取り組む意義は大きいと思います。広告費の削減はもちろん良い事例ですが、5Sが徹底・定着してきたこと、毎水曜日を「ノー残業デー」として省エネ活動を続けてこられたことなど、日々の業務改善を進められたことも、営業の現場としては大きな成果だと考えています。

## お客様や取引先様のみなさまと 環境活動の輪を広げています

### 一人でも多くの方にサッポロビールのファンと なっていただければうれしい

営業部門として、生産工場にはないユニークな取り組みもあります。そのひとつが、取引先様への働きかけ、コラボレーションです。空き缶を回収する「1缶1円運動」なども、取引先である販売店さんのご理解とご協力をいただき展開している環境活動になります。関係するみなさんを巻き込んでの活動は、周りとのコミュニケーションを大切にしている営業部門ならではの活動の輪が広がり根づいていくことで、一人でも多くの方にサッポロビールのファンとなっていただければうれしいことです。長い目で見ればブランドイメージの向上にもつながる、エコアクション21の効果とも言えるんじゃないでしょうか。

### 環境活動を通じた改善を 従業員の働き方の改革・改善につなげていきたい

エコアクション21を契機にした、いわゆる「紙」「ゴミ」「電気」の削減活動も、長く続けていると行き詰まりを感じる部分が出てきてしまいます。これからは、環境活動を業務とどう関連づけていくのが鍵になると思います。環境活動を通じた改善が、業務にも反映され、やがて従業員の働き方の改革・改善につながっていけば、環境活動の継続性も高まるのではないのでしょうか。自社にとどまらず社会貢献、地域貢献へシフトしていくのも、ひとつの方法だと考えています。環境活動を継続していけるような業務環境・組織を整えて、これからもエコアクション21の活動の輪を維持していきたいですね。



本社総務部のお二人  
各地区本部と協力してエコアクション21の全社統合に尽力

### サッポロビール株式会社

〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿 4-20-1 (本社)

〒060-8606 札幌市中央区北一条東 4-8-1 (北海道本部)

代表取締役社長 尾賀 真城

【設立】平成15年7月1日 【資本金】100億円

【事業内容】ビール・発泡酒・その他の酒類の製造・販売、ワイン・洋酒の販売、他

【EA21 認証・登録番号】0008409 (最新の環境活動レポートは

<http://www.ea21.jp/list/pdf/0008409.pdf> をご覧ください)

地域・業界で輝くみなさんにお伺いしました **私たちエコアクション21で頑張っています！**

## 観光 沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ



# お客様に喜んでいただける沖縄を お客様と一緒に守っていく

### 沖縄の海を守るんだという誇りと 日本型の基準というきめ細やかさで選びました

リゾートホテルと言っても、一企業です。企業のCSRとして、環境にも目を向け、取り組んでいかなければいけないと考え始めた頃、ちょうどエコアクション21が誕生したんですね。ISO14001という選択肢ももちろんありましたが、日本型の基準ということで、日本らしい、きめ細やかさも期待できずし、何より実のあるしくみだと考え、エコアクション21の認証を取得することに決めました。

海あつての沖縄なんです。昔は今よりもっときれいだったんです。それが海水温の上昇など地球規模の環境破壊によって、珊瑚礁も白く死滅して行ってしまった。「これではいけない」と珊瑚の植え付け事業を始めたのも、「沖縄で生まれ沖縄で育つ」の精神、沖縄の海を守るんだという海人としての誇りがあつてのことです。その精神、マインドはエコアクション21の活動にも生きています。環境は一過性の課題ではありません。未来の世代まで永遠に続くものですから、こうした地域への愛着は欠かせない原動力になっています。



### 10年間続けてきたからこそ 見てくるもの使えるものがあります

ホテル業界で初めてエコアクション21の認証を取得してから、10年になりました。10年間続けてきたことは、とても重いことだと思うんです。10年間の実績、一つひとつは小さいのかもしれないですが、実績を積み重ねていくことで様々な経営判断に使える分析結果が得られるわけですし、活動を続けてきた従業員の自信にもつながります。最近のエネルギーコスト高騰についても、10年続けていれば傾向が読める貴重なデータになりますし、これだけでも経営にプラスに働いていると言えます。途中、活動が低迷した時期もありましたが、エコアクション21の持つ良いしくみを見失っていただけなんです。それに気づいた今では、お泊まりいただくお客様の信頼・信用を「環境」でも引き寄せていこうと新しい取り組みを考えているところです。

### お客様あつてのホテル業です これからの環境活動は大切なお客様とともに 取り組んでいきたいですね

ホテル業ならではの取り組みとして、ゲスト＝お泊まりいただくお客様とともにエコ活動を続けていけるということがあると思います。これまでは、お客様の出したゴミをできるだけ自分たちの力で処理することで、環境負荷を軽減、地域に迷惑をかけない事業を心がけてきました。そこから一歩進んで、お客様とともに環境負荷を減らしていく、たとえばリネンの使用回数を減らすことなどは、これまでホテル側の都合・コスト削減にしか映らなかったのですが、これをお客様にご理解、アクションいただくことで、お客様のエコ活動をホテルがサポート、推進するという新しい形も生まれてくるのではないかと考えています。さらに、お客様の環境問題への関心を高めるこ

とつながれば、全国にエコ活動の種を蒔くことができるのではないかと考えています。

### 数値による環境活動の「見える化」と循環型環境 経営の実感が従業員のやる気につながっています

環境負荷を軽減することは、エネルギーコストや処理費用コストの削減につながり、利益を生んでくれます。この利益を次のエコに投資、新たな設備投資の原資に充てることで、エコアクション21は、まったく無駄のない活動と言えると思います。さらに、それぞれの活動が数値となり結果が見えることが、従業員のやる気につながっているようです。今後は、新しくなったエコアクション21マークを名刺に刷り込んだり、フロントや客室でお客様に見えるようにしたり、パンフレットやHPに活動の紹介をしたりして、環境活動を外部にもアピール、企業価値と従業員意識の向上を目指していきたいと考えています。

### 創業100年となる半世紀先まで活動を継続して 昔のような美しい珊瑚の海を取り戻したい

電力自由化に伴い、電力会社を切り替えることで、年間3%の節約を見込んでいます。これを原資として、新たなエコ設備に投資を考えているところです。環境経営と設備投資、両輪がうまくかみ合ってこそ前に進んでいく力になる。10年の節目を、環境活動の元年として原点に立ち返り、従業員一人一人知恵を出し合っ、この先の10年、20年、そして創業100年となる半世紀先まで、活動を継続していければ、昔のような美しい海と緑に囲まれた沖縄、珊瑚の海が戻ってくると信じています。

### 人の手が入って生かされるエコ施設



ホテルから出る生ゴミを加熱処理し、堆肥としてリサイクル



中水処理施設の汚泥物を除去して客室の便所洗浄水や社用車の洗車に再利用

### 株式会社かりゆし

〒904-0401 沖縄県国頭郡恩納村名嘉真ヤーシ原 2591-1

代表取締役社長 當山 智士

【創立】昭和37年10月 【資本金】10,000万円

【事業内容】ホテル業

【EA21 認証・登録番号】0000041 (最新の環境活動レポートは

<http://www.ea21.jp/list/pdf/0000041.pdf> をご覧ください)

## 教育 国立大学法人鳴門教育大学



# 教育の一番札所は 地球環境の一番札所を目指します

エコアクション21は本学における  
環境活動の道しるべです



平成22年に環境の基本方針を定めてから、環境への取り組みに理解が深まる中、21世紀を生きる我々がどういふ問題・課題に直面しているかに考えを巡らせるようになりました。そのひとつに地球温暖化をもたらす温室効果ガスの問題があります。全世界的・全人類的な課題ではありますが、本学のような小さな力を結集して担うことのできる課題、地球のため未来のために我々が実行に移していける課題だと考えました。そのための道しるべとして、エコアクション21の認証を取得して、職員と学生ともに本学構成員全員で環境活動を続けてきています。

### 「一人ひとりが環境マインドを育てていくこと」 エコアクション21を通じたすべての取り組みは そこに帰結します

ゴミの減量や省エネルギーなど、環境方針に準じた活動を行っています。もっとも大きなものは個々の環境マインドを育成していることにはなるのではないかと思います。本学で学び社会に巣立つ9割の学生が、教壇に立ち、子供たちに教鞭をふるうこととなります。そうした教育大学の性格を大いに生かし、教師の卵たちにしっかりと環境マインドを醸成することで、その精神が教え子たちに伝播し、次代の地球を守る礎になっていくのではないのでしょうか。それこそが環境問題に対する、本学の務め・責任だと言えるかもしれません。

「もったいない」「ゴミにしない」の気持ちから、芸術系講義の創作活動に流木を利用しているのも、環境マインドを醸成する一助につながっていると思います。「枯れて流されていても、また違う形で生き返る」、リユースに共通する考えを自然と講義の中で養っていく。けしてエコアクション21の活動項目に謳っているわけではありませんが、大きな意味で本学の環境活動のひとつと捉えています。

教師は、子供たちの鏡です。これは今も昔も変わりありません。その教師が環境に良いことを自然と振る舞えば、それを見た子供たちは良い所作を身につけていきます。さらにその子供たちが成人して子供を授かり、その子供たちにも、環境マインドが受け継がれていく…こうした自然な循環が生まれることで、地球の未来は、少しだけ明るいものになると信じていますし、本学がそのきっかけになれば大変うれしいですね。

学校経営にもしっかりプラス  
実効面にも優れているところがエコアクション21の  
素晴らしいところですね

エコアクション21による環境活動を継続していく上では、経営面でのメリット・効果も重要だと考えています。大学を経営面で捉えた場合、決められたお財布でいろいろなことをしなければなりません。環境活動によって削減されたコスト(たとえば電気使用料や水道使用料など)は、財務的にはプラスになっているわけで、これを環境活動で生み出された「利益」として還元、再びエコ設備導入への原資とする循環、本学で言えばLED化によって生まれた「利益」を元に、空調設備の更改を実施するという、好循環につながっています。これによって活動を続けていくモチベーション、意識の向上が図れると思っています。

環境活動によって、適切な照明や空調設備が整い、学び舎がきれいになることは、入学意欲・修学意欲にもプラスに働いていると思います。加えて本学の環境への取り組みが地元メディアで紹介されたときには、広報宣伝の費用をかけることなく評判が高まりまして…これもエコアクション21の波及効果なのだろうと喜んでます。

### 数値に表すことの難しい気持ちの変化を捉えたい これからエコアクション21を継続していく上で 本学が挑戦していくべき課題です

環境マインドの育成を全面に打ち出して、新入生のオリエンテーションから始まり、学生生活・講義の場で折に触れて個々の気持ちに浸透していくように務めています。その浸透度、環境マインドが時間とともにどのように培われているのか、縦断的に調査してエビデンス=科学的根拠を開示できないかと考えているところです。無形であるもののエビデンスは難しいと思いますが、大学での取り組みとして目に見える効果測定を実現できれば、他の教育機関でも取り組むところが出てくるのではないかと、それが日本を、世界を救うことにつながるのではないかと、そう考えています。



新任職員研修時にエコアクション21への  
取り組みを紹介

新入生に対してエコアクション21の概要を説明

### 国立大学法人鳴門教育大学

〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地

学長 田中 雄三

【開設】昭和56年10月 【活動】教育・研究活動

【事業内容】教員養成系大学

【EA21 認証・登録番号】0008147(最新の環境活動レポートは

<http://www.ea21.jp/list/pdf/0008147.pdf> をご覧ください)

地域・業界で輝くみなさんにお伺いしました 私たちエコアクション21で頑張っています！

## 医療 静岡済生会総合病院



# 医療に携わるものとして 環境経営を通じて人も地球も救いたい

### 「これではいけない」という空気が エコアクション21の導入につながりました

きっかけは廃棄物の分別です。医療の現場として廃棄物、とりわけ感染性廃棄物は、きちんと処理されるのは当然で、適正に処理されるべきものです。以前に誤混入が発見され、院内全体に「これではいけない」という空気が生まれました。ちょうどそのとき、同じ系列である大阪の吹田病院での導入実績を耳にし、医療廃棄物の適正処理を推進するために、エコアクション21を導入、環境活動として、この課題に取り組み始めました。

誤混入のこともあり、職員全体への浸透も早かったように思います。加えて、主婦層の職員が家庭での分別意識をそのまま持ち込んだおかげで、それまで意識の薄かった職員も積極的に分別を行うようになりました。もちろん、浸透には事務局の説明努力もありますし、廃棄物の分別で迷ったときなどは事務局がフォローするというのが、院内全体での環境活動につながっている実感があります。

### 混ぜればゴミ、分ければ資源の言葉どおり エコアクション21がコストを利益に変換してくれる

医療廃棄物には「疑わしきは感染ゴミ」の不文律があるのですが、「混ぜればゴミ」「分ければ資源」の言葉どおり、資源ゴミへの分別は、コストを利益に変換してくれます。そこで独自にコストと売却益を記した「分別シート」を作成。分別に迷うゴミの写真をゴミ箱の上に張り付けたりしながら、医療廃棄物の適正処理と処理コストの削減を両立させています。古紙の分別による売り上げを、院内トイレの改修費用に充てる——こうした還元の動きも少しずつですが始まっています。フィードバックによるモチベーションの向上を期待し、みんなで頑張った証のようなものを形としてみせられるようにしていきたいです。このようなコスト削減で生まれた利益を次の活動につなげていけるよう、今後もしっかり考えていきたいですね。

### 地域みなさんに伝えていけたらいいですね



防災テントでワークショップ

た当院の環境活動を外向けに発信できるようにし、これからの活動のモチベーションにつなげていければと考えています。

毎年開催する「ホスピタルフェア」は、当院と地域住民とのふれあいの場です。昨夏は職員が、エコアクション21マークを入れたうちわを地域の子どもたちと一緒に作るなど、親睦を深めながら地域における環境活動の一環としています。さらに、こうし

### 職員みんなの創意工夫が 活動を継続する力になっています



それぞれの部署ごとにエコ隊員が選出され、現場での環境活動を牽引しています。病院全体の目標だけではなく、それぞれの部署ごとで、それぞれが考え取り組んでいる活動が原動力になり、それが当院の環境活動の特徴だと思っています。エコアクション21事務局のメンバーが3ヶ月単位で活動状況を報告するシートを作成、部署内でチェック、コメントバックするしくみも、環境活動を継続、向上させている力になっています。

部署ごとの取り組みで成果を上げている一方で、部署間での連携、横のつながりは、まだ進んでいないように思われます。院内研究発表の場にエコアクション21枠を設けて、他の部署での活動成果を「見せる化」し、部署間での情報交換、切磋琢磨、そしてこれからの活動のモチベーションにつなげていきたいと考えています。

### 地域事務局や審査人の方に教えていただきながら 5年後、10年後を目指します

エコアクション21を通じた環境活動への理解は、この5年でかなり進んだと思っています。一方で、数値的な効果も横ばい傾向になり、正直頭打ちとなっているのが現状です。継続には、やはり一人一人のやる気、モチベーションの向上が欠かせません。その辺りのヒントを、地域事務局や審査人の方に教えていただきながら、これからも、みんなが「面倒にならない」環境活動を心がけて、5年後、10年後を目指します。

毎年の審査は大変だとも思いましたが、その都度審査人の方にいろいろと相談、教えていただけるのは、エコアクション21のいいところだと思います。これからも、この「割愛」なメリットを大いに生かし、審査人の方に協力いただきながら、医療だけでなく環境経営でも地域で輝いている病院でありたい、そう願っています。

#### 静岡済生会総合病院

〒422-8527 静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1-1

病院長 石山 純三

【開設】 昭和23年6月

【施設概要】 病床数 521床・地域医療支援病院・看護体制(7:1) 救命救急センター併設

【EA21 認証・登録番号】 0006616 (最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0006616.pdf> をご覧ください)

# エコアクション21 地域事務局一覧

地域事務局名	郵便番号	住 所	電話番号
北海道	〒060-0001	札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター	011-241-6305
銀河	〒024-0051	北上市相去町山田2-18 北上オフィスプラザ	0197-67-1521
環境ネットやまがた	〒990-2421	山形市上桜田3-2-37	023-679-3340
いばらき	〒310-0801	水戸市桜川二丁目2番35号 茨城県産業会館8階	029-224-8030
とちぎ	〒320-0806	宇都宮市中央3-1-4	028-637-3131
群馬	〒370-0849	高崎市八島町70-51-302	027-326-6677
群馬県中小企業団体中央会	〒371-0026	前橋市大手町三丁目3番1号 群馬県中小企業会館3階	027-232-4123
さいたま	〒330-0855	さいたま市大宮区上小町1450番地11	048-649-5496
埼玉県中小企業団体中央会	〒330-8669	さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックシティ9階	048-641-1315
千葉県環境財団	〒260-0024	千葉市中央区中央港1-11-1	043-246-2082
東京	〒143-0015	大田区大森西2-4-1 プラスワンビル2階	03-5471-0095
東京中央	〒167-0051	杉並区荻窪5-15-7 白鳳ビル2F 202号	03-3392-5231
東京都中小企業団体中央会	〒104-0061	中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館7階	03-3542-0386
かながわ	〒231-0015	横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター9階	045-671-1138
新潟県環境分析センター・EAとき	〒950-1144	新潟市江南区祖父興野53-1	025-284-6500
上越環境科学センター	〒942-0063	上越市下門前1666	025-544-5021
とやま環境財団	〒930-0096	富山市舟橋北町4番19号 富山県森林水産会館2階	076-431-4607
金沢商工会議所	〒920-8639	金沢市尾山町9-13	076-263-1157
福井	〒910-0859	福井市日之出2丁目2-16	0776-30-0092
やまなし	〒400-0056	甲府市堀之内町45-1	055-234-5465
長野産環協	〒380-0936	長野市大字中御所字岡田131-10 長野県中小企業会館5階	026-228-5886
ぎふ	〒500-8357	岐阜市六条大溝4-12-6	058-272-0408
静岡県環境資源協会	〒420-0853	静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業会館6階	054-252-9023
ふじのくに	〒420-0853	静岡市葵区追手町10 新中町ビル221-3	054-205-8083
いわた	〒438-0078	磐田市中泉281-1 磐田商工会議所内	0538-32-2261
あいち	〒453-0041	名古屋市中村区本陣通5-6-1 地域資源長屋なかむら2-1	052-471-7477
とよた	〒471-8506	豊田市小坂本町1-25 豊田商工会議所内	0565-32-4660
びわこ	〒526-0845	長浜市小堀町222番地 長浜建設会館内	0749-53-0118
京都	〒600-8085	京都市下京区葛籠屋町515-1	075-708-8064
大阪	〒550-0005	大阪市西区西本町1-7-7 CE西本町ビル8階	06-6543-1521
大阪技術振興協会	〒550-0004	大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センター504号	06-6444-4798
大阪府中小企業団体中央会	〒540-0029	大阪市中央区本町橋2番5号 マイドームおおさか6階	06-6947-4373
ひょうごEMS支援センター	〒654-0037	神戸市須磨区行平町3-1-18	078-735-2738
環境カウンセラー会ひょうご	〒659-0014	芦屋市翠ヶ丘町20-16-312	0797-32-4871
なら	〒630-8114	奈良市芝辻町1-21 船橋フロムワン2階	0742-26-3370
しまね	〒690-0886	松江市母衣町55-4 商工会館4階	0852-21-4809
岡山県環境保全事業団	〒701-0212	岡山市南区内尾665-1	086-298-2122
ひろしま	〒730-8631	広島市中区広瀬北町9-1	082-293-1546
環境未来やまぐち	〒753-8502	山口市桜島3丁目2番1号 山口県立大学内	083-928-2453
やまぐち	〒755-8551	宇部市文京町4-23 学校法人香川学園 宇部環境技術センター内	0836-32-0082
徳島県中小企業団体中央会	〒770-8550	徳島市南末広町5番8-8号 徳島経済産業会館(KIZUNAプラザ)3階	088-654-4431
高松	〒760-8515	高松市番町2丁目2番2号 高松商工会議所内	087-825-5601
愛媛県中小企業団体中央会	〒791-1101	松山市久米窪田町337番地1 テクノプラザ愛媛3階	089-955-7150
高知商工会議所	〒780-0870	高知市本町1-6-24	088-875-1170
福岡	〒804-0003	北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンタービル8階	093-873-1453
ECO-KEEA九環協	〒813-0004	福岡市東区松香台1-10-1	092-662-0410
久留米商工会議所	〒830-0022	久留米市城南町15-5	0942-33-0215
未来長崎	〒855-0801	島原市高島2-7217 島原商工会議所1階	0957-65-5018
ながさき	〒850-0036	長崎市五島町3-3 プレジデント長崎206号	095-893-5900
環境技術協会	〒860-0031	熊本市中央区魚屋町2丁目5 サンコムビル3階	096-245-6235
おおいた	〒870-0901	大分市西新地1-3-5 サンビル1階	050-7548-6795
みやざき	〒880-0911	宮崎市大字田吉6258-20	0985-51-2077
かごしま	〒891-0132	鹿児島市七ツ島1-1-10	099-284-6013
沖縄県公衆衛生協会	〒901-1202	南城市大里字大里2013	098-945-2686

## ■発行 環境省総合環境政策局環境経済課

### ■事務局 (問い合わせ先)

一般財団法人 持続性推進機構 (IPSuS)

## エコアクション21 中央事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-18-4F

E-mail: info@ea21.jp URL: http://www.ea21.jp

## 【地域事務局】



古紙・パルプ配合率100%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。